

5 自転車の利用について

5-1 自転車の利用状況

◎「利用している（頻度にかかわらず）」が49.9%

自転車の利用状況や走行ルール等についてうかがいます。

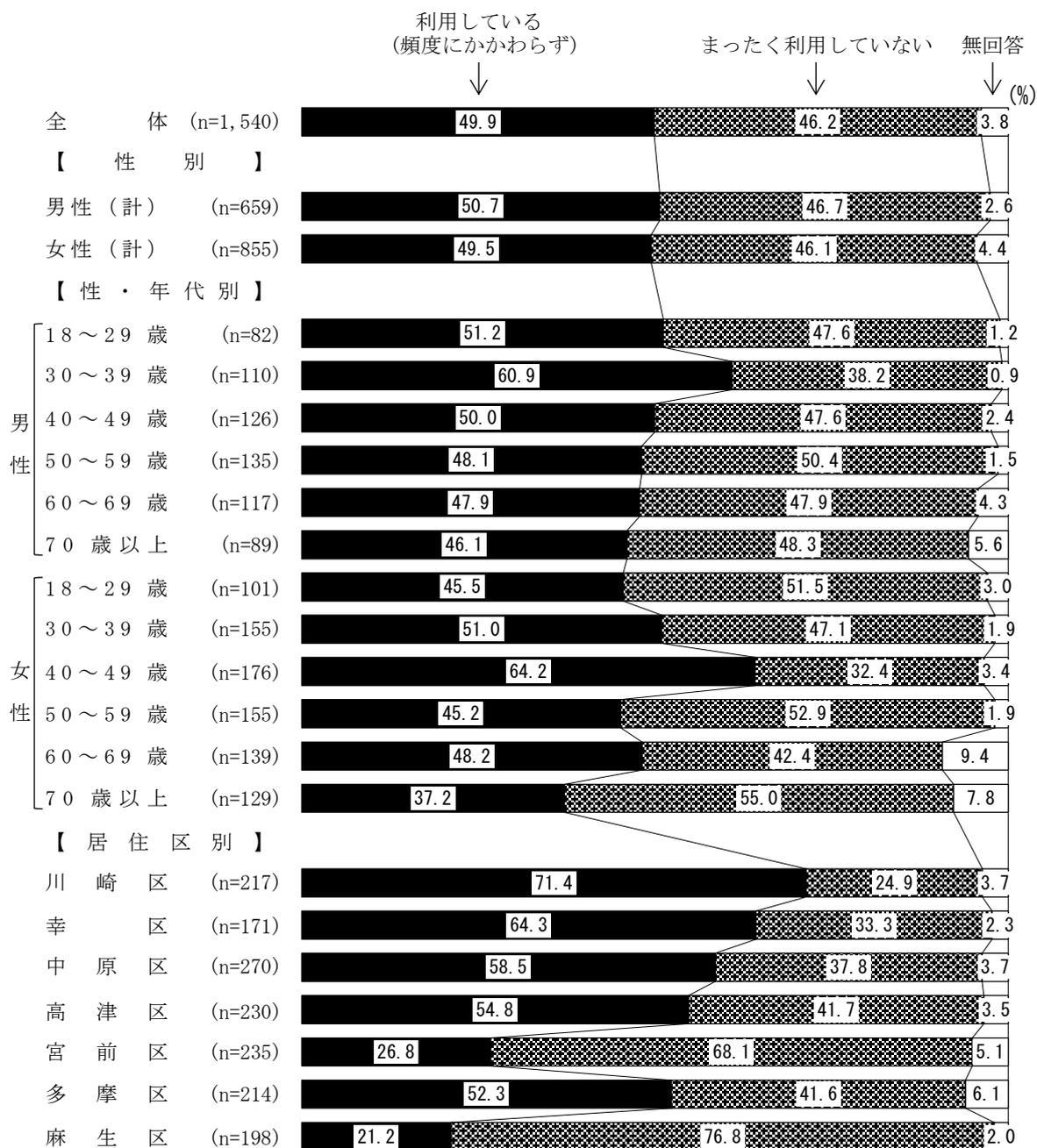
問 11. あなたは自転車を利用していますか。（○は1つ）

図表 5-1 自転車の利用状況



自転車の利用状況は、「利用している（頻度にかかわらず）」が49.9%で、「まったく利用していない」が46.2%となっている。

図表5-2 自転車の利用状況(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用している(頻度にかかわらず)」は女性の40~49歳(64.2%)、男性の30~39歳(60.9%)の順で高い。一方、「まったく利用していない」は、女性の70歳以上(55.0%)で最も高い

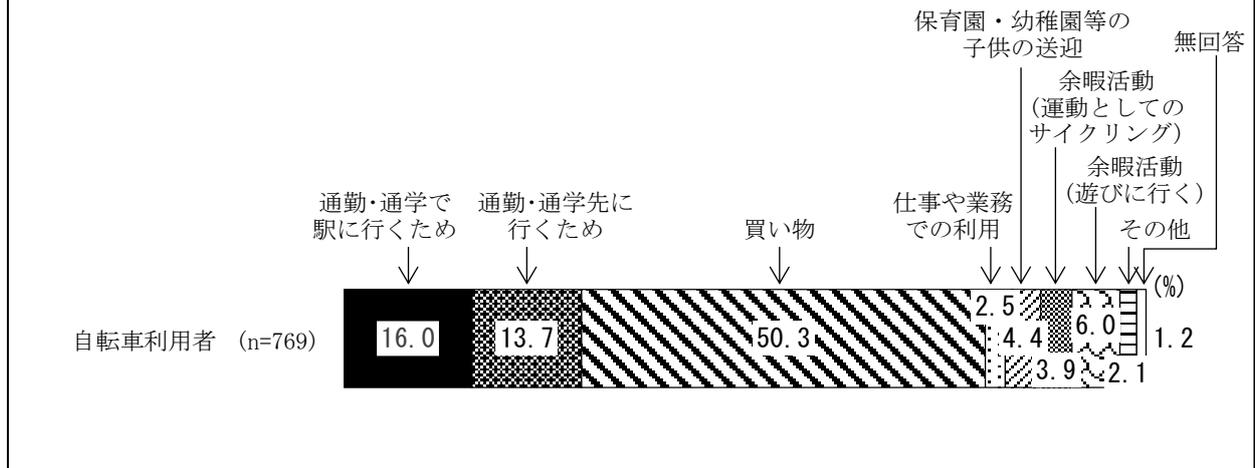
居住区別では、「利用している(頻度にかかわらず)」は、川崎区(71.4%)、幸区(64.3%)、中原区(58.5%)の順で高い。一方、「まったく利用していない」は、麻生区(76.8%)、宮前区(68.1%)で特に高い。

5-2 自転車の主な利用目的

◎「買い物」が50.3%

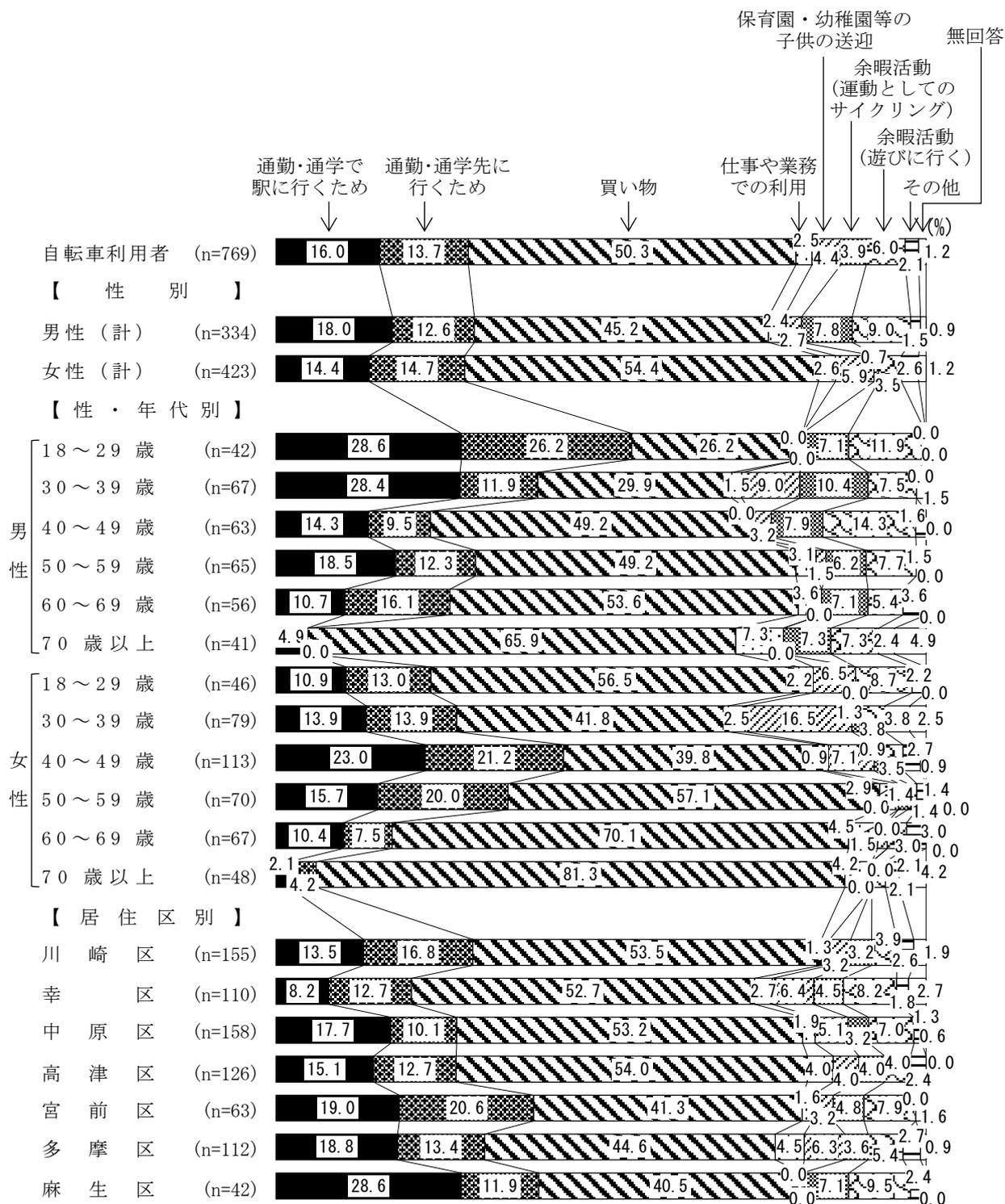
問12. あなたが自転車を最もよく利用する目的を教えてください。(〇は1つ)

図表5-3 自転車の利用目的



自転車の主な利用目的は、「買い物」が最も多く 50.3%と半数以上を占めている。次いで、「通勤・通学で駅に行くため」(16.0%)、「通勤・通学先に行くため」(13.7%)の順となっている。

図表5-4 自転車の利用状況(性/年齢別・居住区別)



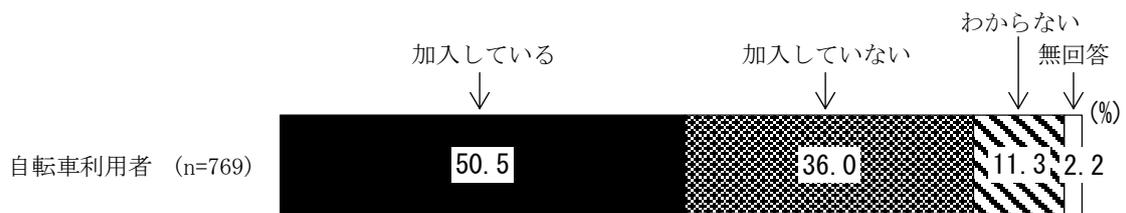
性/年齢別では、男性の18~29歳を除いて、「買い物」が最もよく利用する目的となっており、特に、男性の70歳以上、女性の60~69歳と70歳以上では6~8割となっている。居住区別では、すべての区で「買い物」が最もよく利用する目的となっている。

5-3 自転車事故対象損害賠償保険の加入状況

◎「加入している」が50.5%

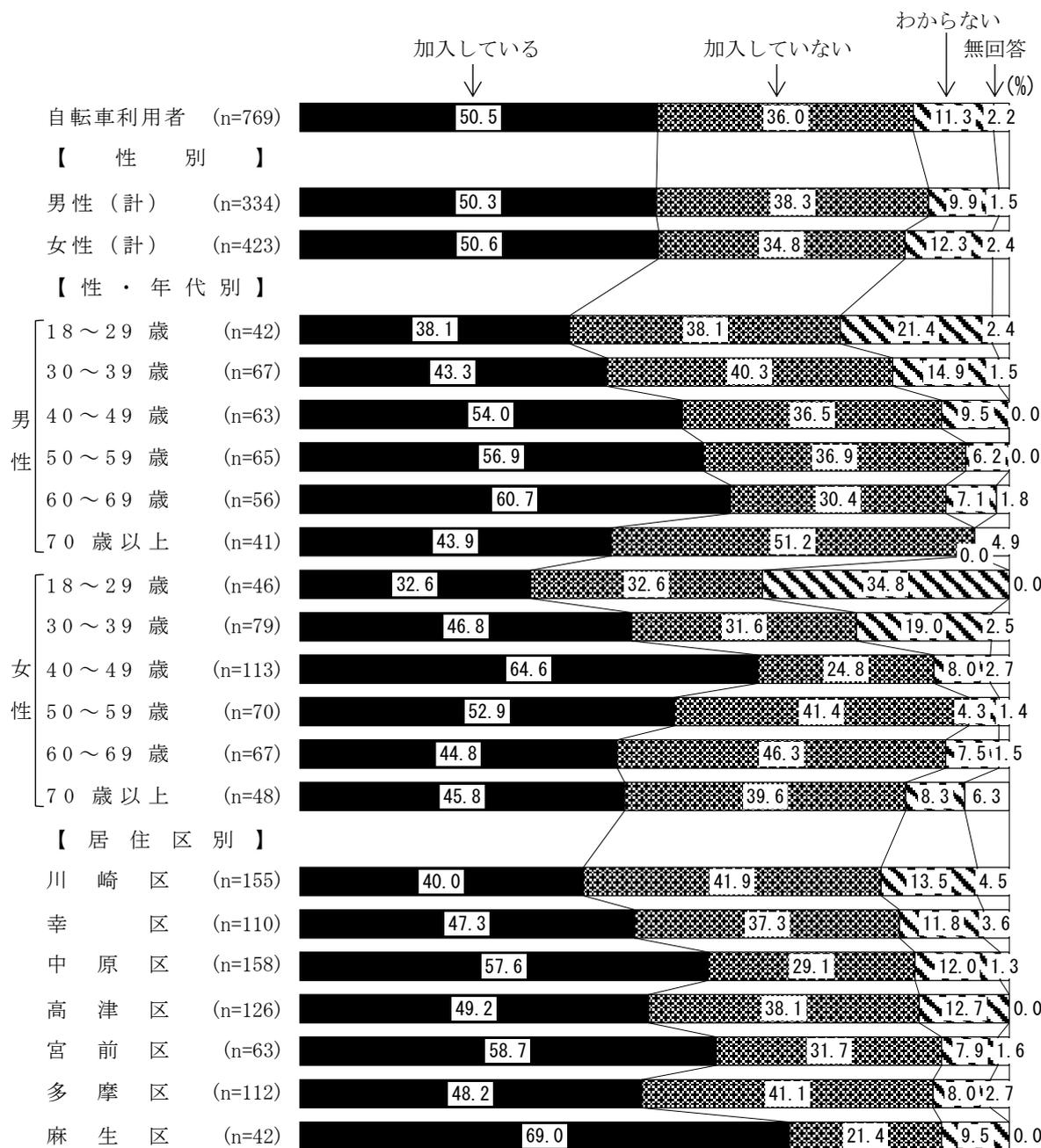
問13. あなたは、自転車事故を対象とした損害賠償保険に加入していますか。(損害保険には、クレジットカードや自動車保険等に付帯しているものも含まれます)。(○は1つ)

図表5-5 自転車事故を対象とした損害賠償保険の加入状況



自転車事故を対象とした損害賠償保険の加入状況は、「加入している」が50.5%で、「加入していない」が36.0%となっている。

図表5-6 自転車事故を対象とした損害賠償保険の加入状況(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「加入している」は女性の40~49歳(64.6%)で最も高く、次いで、男性の60~69歳(60.7%)となっている。他にも、男性の40~49歳と男女の50~59歳でも「加入している」が5割を超えている。

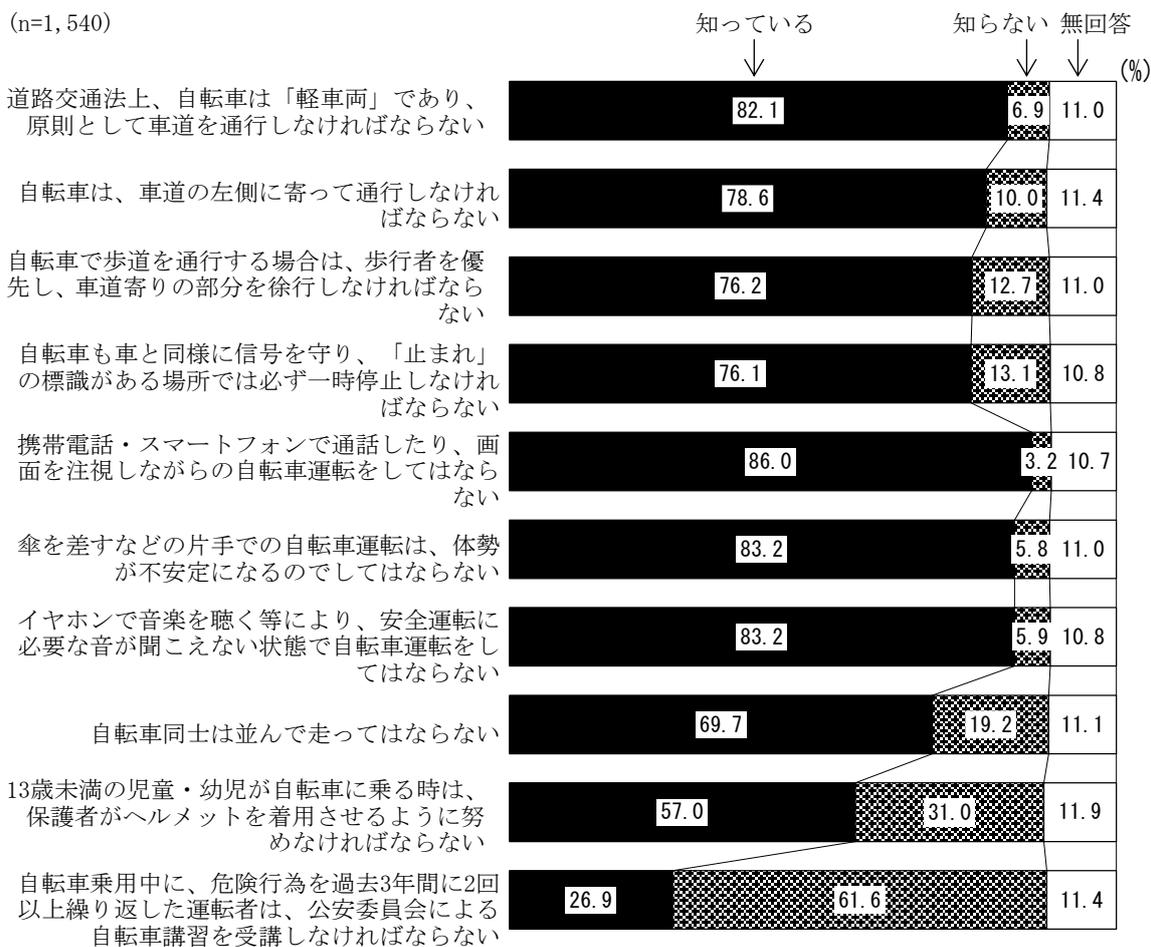
居住区別では、「加入している」は麻生区(69.0%)で最も高く、次いで、宮前区(58.7%)、中原区(57.6%)の順となっている。

5-4 自転車利用に関する交通ルールの認知状況

◎認知度が最も高いのは「携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない」で86.0%

問 14. あなたは、次の自転車利用に関する交通ルールを知っていますか。交通ルールの「認知」について、それぞれ当てはまるものをお選びください。(○はヨコに1つずつ)

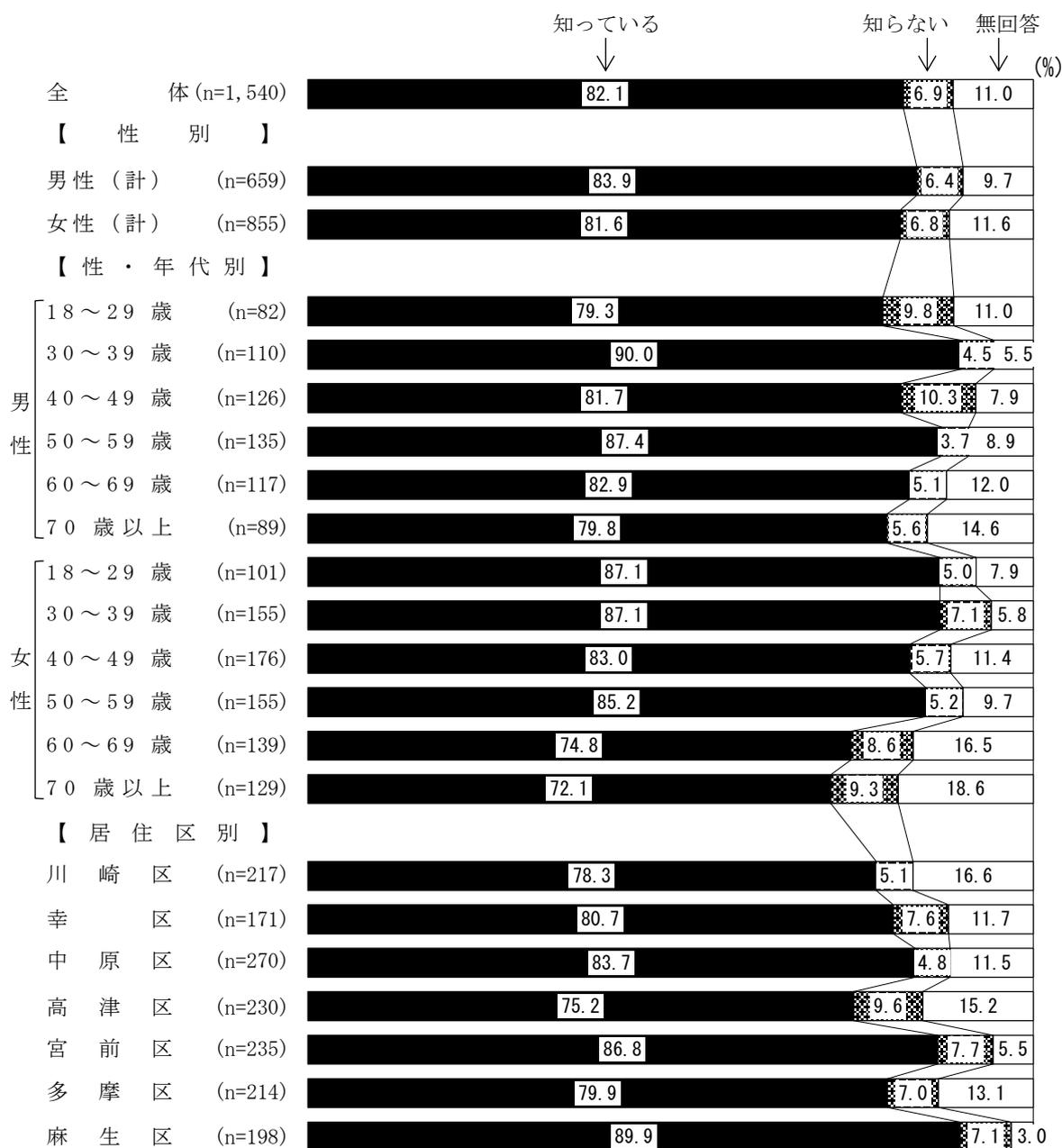
図表5-7 交通ルールの認知



自転車利用に関する交通ルールについては、「自転車乗用中に、危険行為を過去3年間に2回以上繰り返した運転者は、公安委員会による自転車講習を受講しなければならない」(26.9%)と「13歳未満の児童・幼児が自転車に乗る時は、保護者がヘルメットを着用させるように努めなければならない」(57.0%)を除き、概ね7~8割近くの認知率(「知っている」割合)となっている。

図表5-8 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)

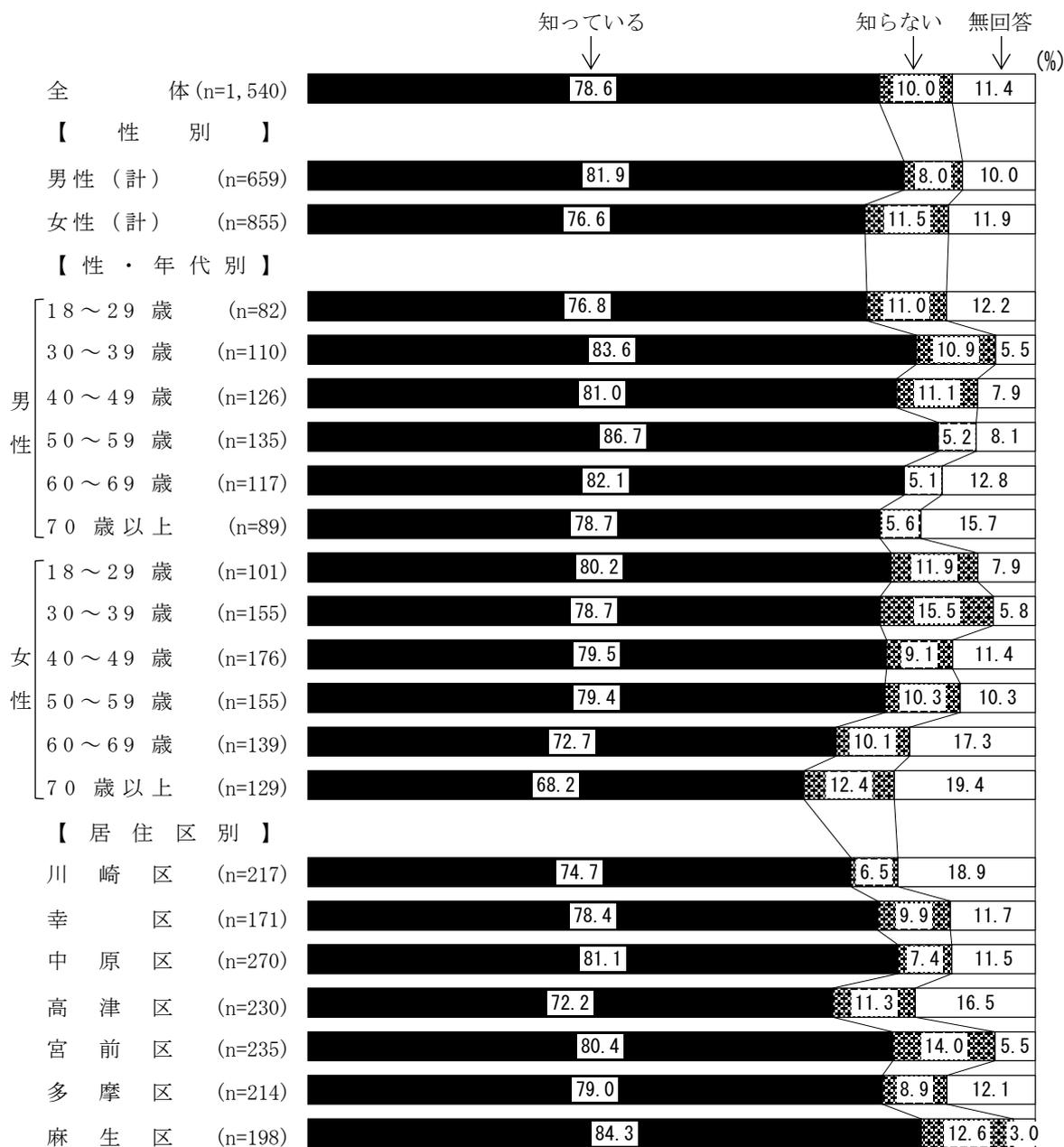
【道路交通法上、自転車は「軽車両」であり、原則として車道を通行しなければならない】



性/年齢別では、「道路交通法上、自転車は『軽車両』であり、原則として車道を通行しなければならない」ことを「知っている」が7～9割となっている。

居住区別でも、「知っている」が7～9割近くとなっている。

図表5-9 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
【自転車は、車道の左側に寄って通行しなければならない】

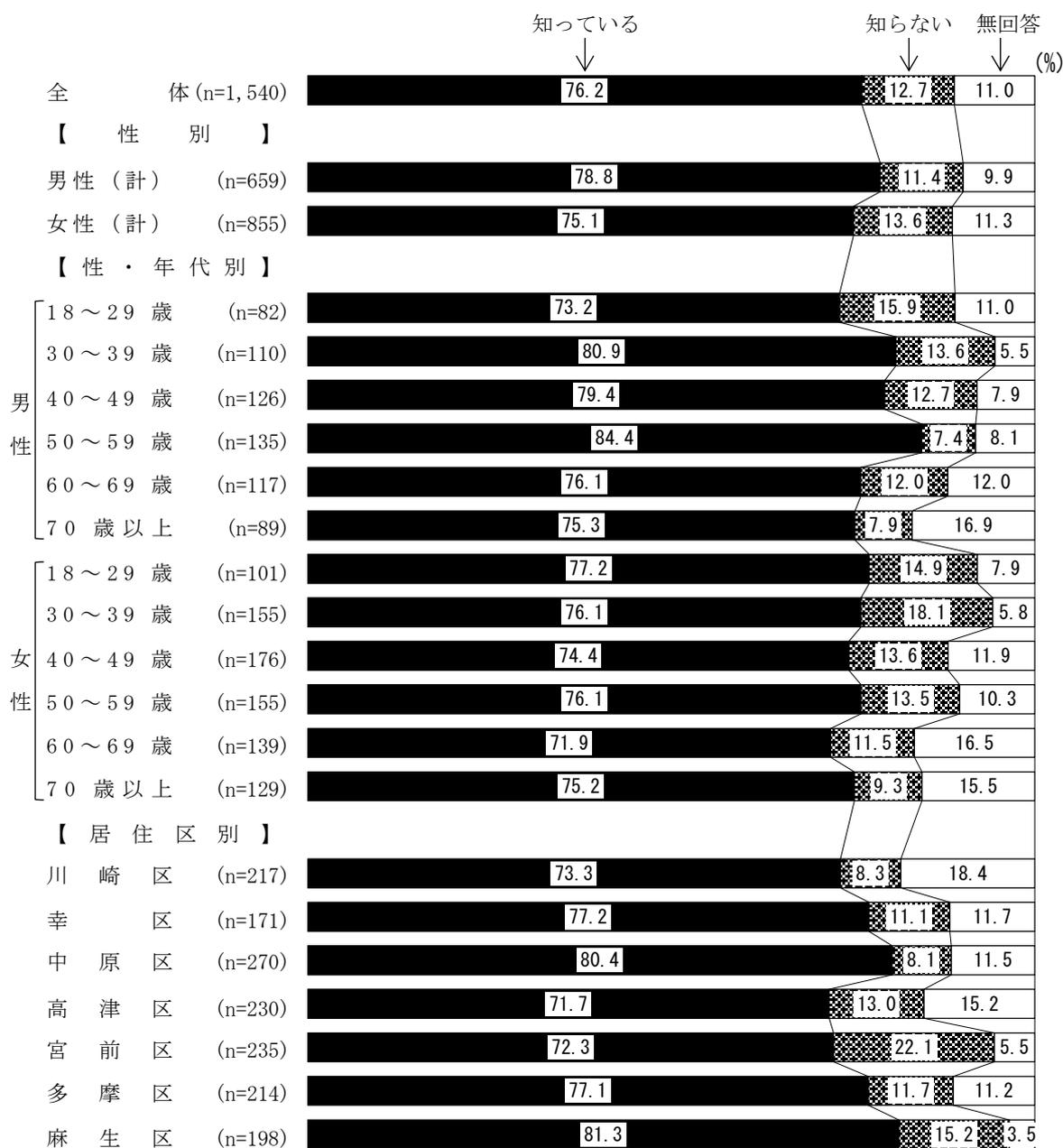


性/年齢別では、女性の70歳以上を除き、「自転車は、車道の左側に寄って通行しなければならない」ことを「知っている」が7~8割となっている。

居住区別でも、「知っている」が7~8割となっている。

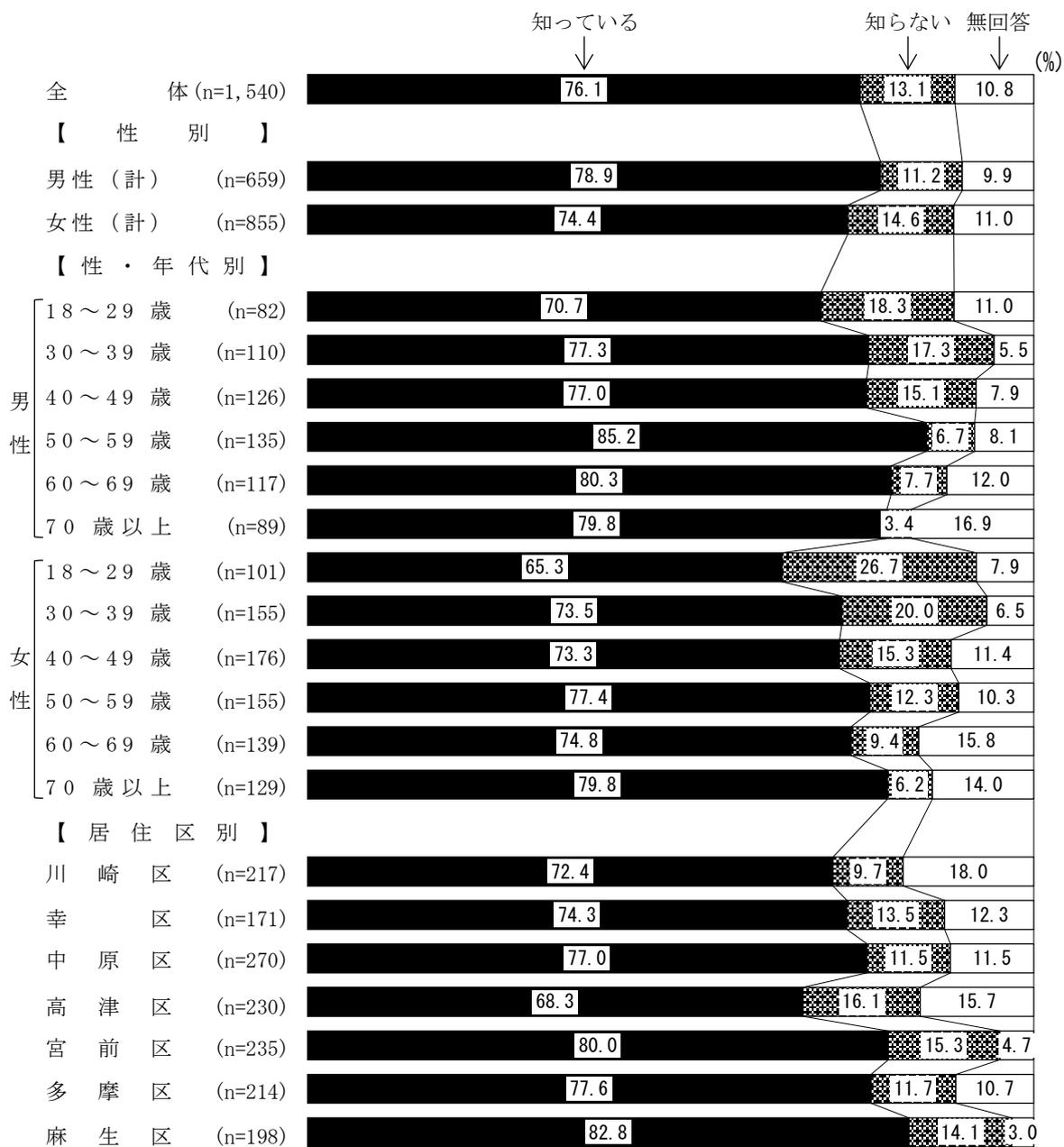
図表5-10 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)

【自転車で歩道を通行する場合は、歩行者を優先し、車道寄りの部分を徐行しなければならない】



性/年齢別では、「自転車で歩道を通行する場合は、歩行者を優先し、車道寄りの部分を徐行しなければならない」ことを「知っている」が7~8割となっている
居住区別でも、「知っている」が7~8割となっている。

図表5-11 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
 【自転車も車と同様に信号を守り、
 「止まれ」の標識がある場所では必ず一時停止しなければならない】

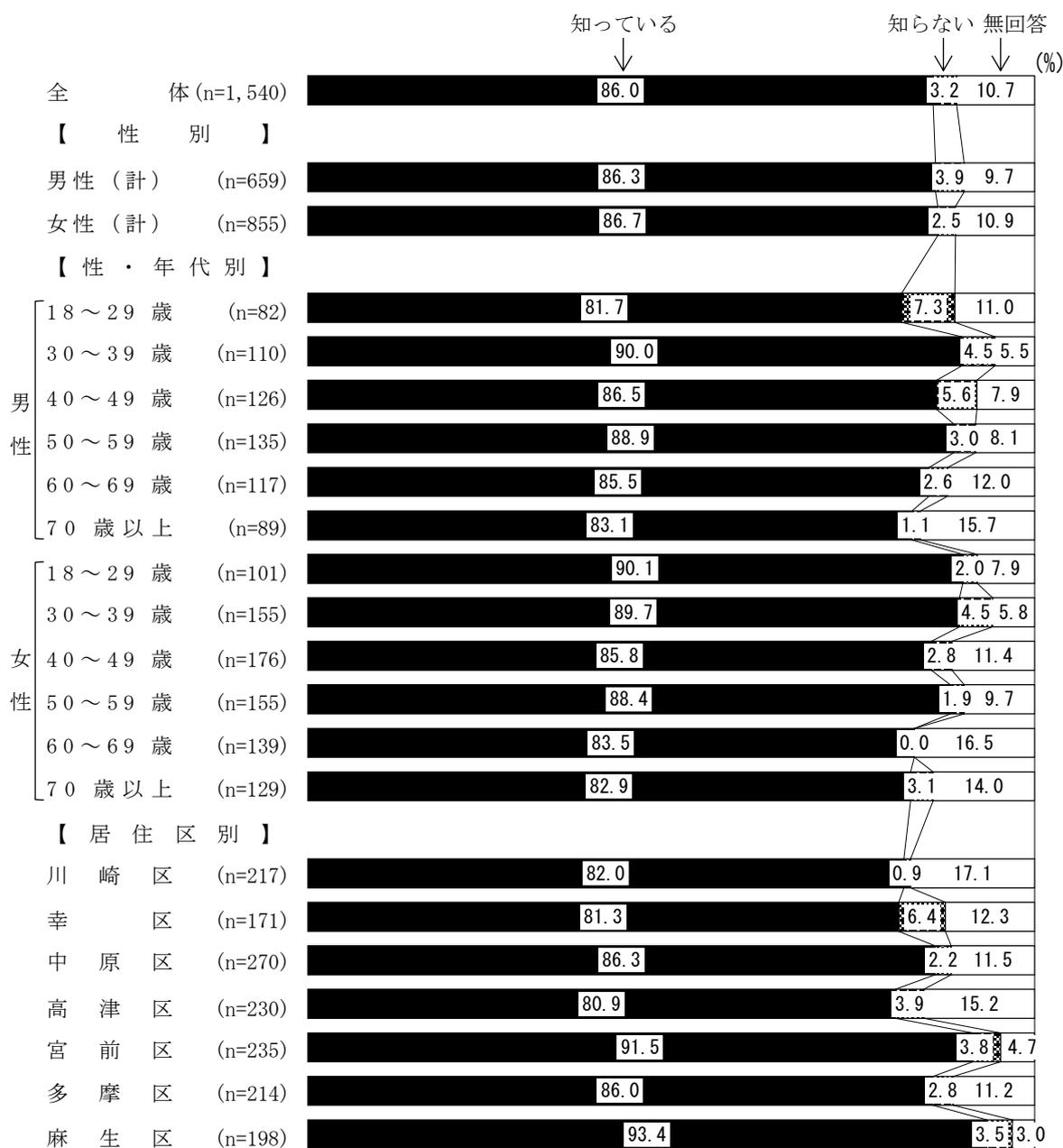


性/年齢別では、女性の18~29歳を除き、「自転車も車と同様に信号を守り、『止まれ』の標識がある場所では必ず一時停止しなければならない」ことを「知っている」が7~8割となっている。

居住区別では、高津区を除き、「知っている」が7~8割となっている。

図表5-12 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)

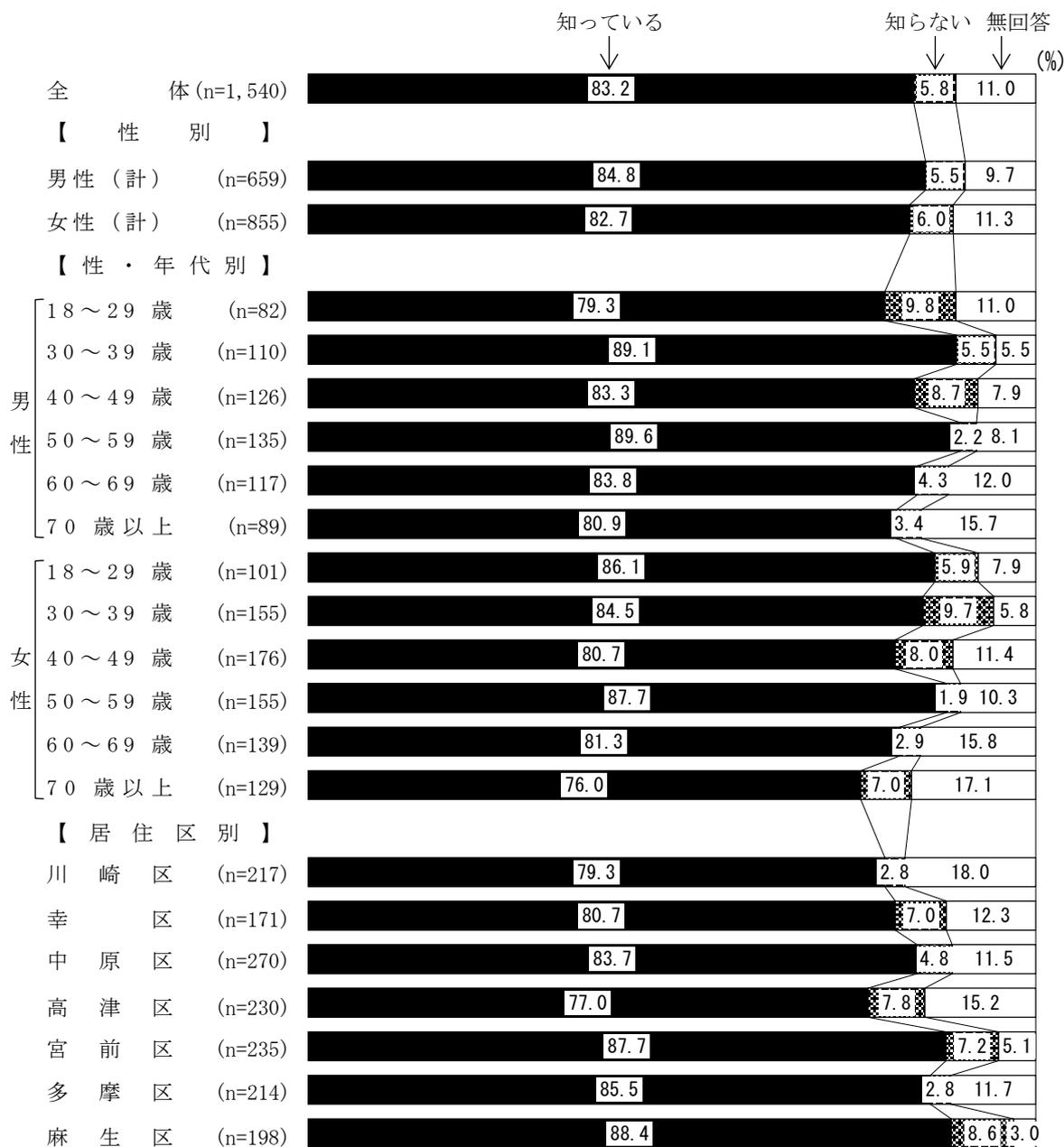
【携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない】



性/年齢別では、「携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない」ことを「知っている」が8～9割となっている。

居住区別でも、「知っている」が8～9割となっている。

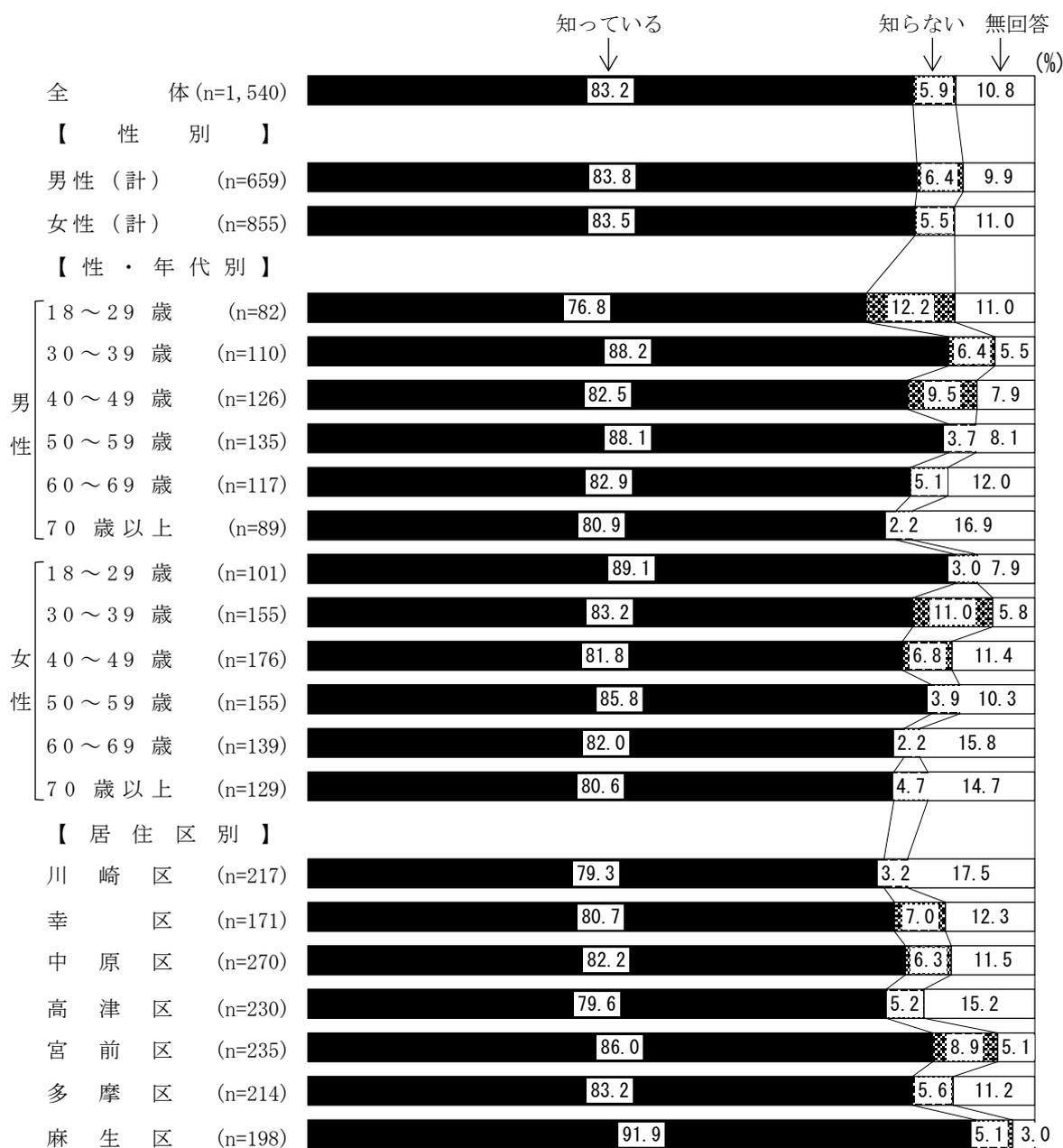
図表5-13 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
【傘を差すなどの片手での自転車運転は、体勢が不安定になるのではない】



性/年齢別では、「傘を差すなどの片手での自転車運転は、体勢が不安定になるのではない」ことを「知っている」が7割台半ば～9割近くとなっている。

居住区別でも、「知っている」が8割近く～9割近くとなっている。

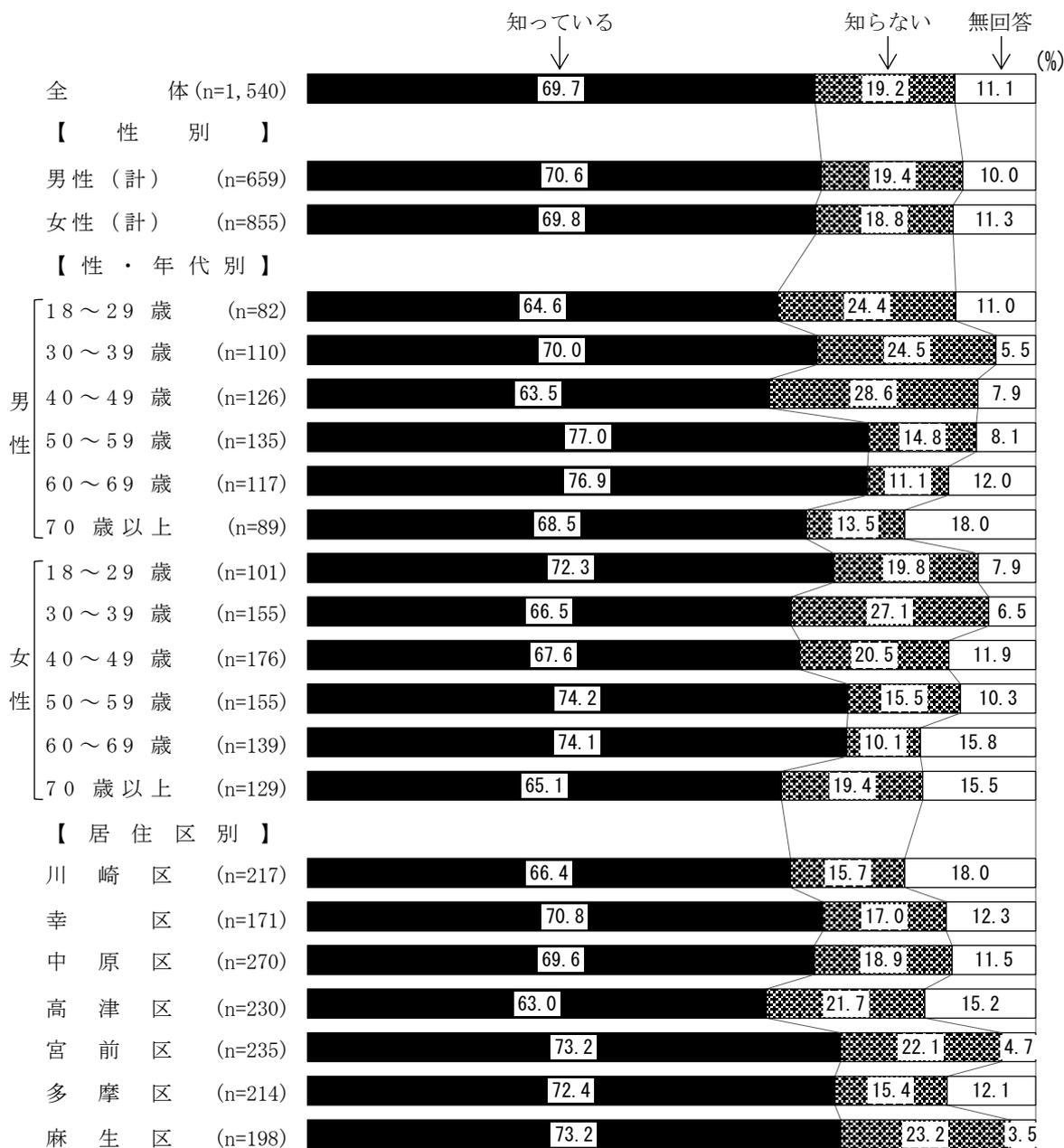
図表5-14 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
【イヤホンで音楽を聴く等により、
安全運転に必要な音が聞こえない状態で自転車運転をしてはならない】



性/年齢別では、「イヤホンで音楽を聴く等により、安全運転に必要な音が聞こえない状態で自転車運転をしてはならない」ことを「知っている」が7割台半ば～9割近くとなっている。

居住区別でも、「知っている」が8割近く～9割となっている。

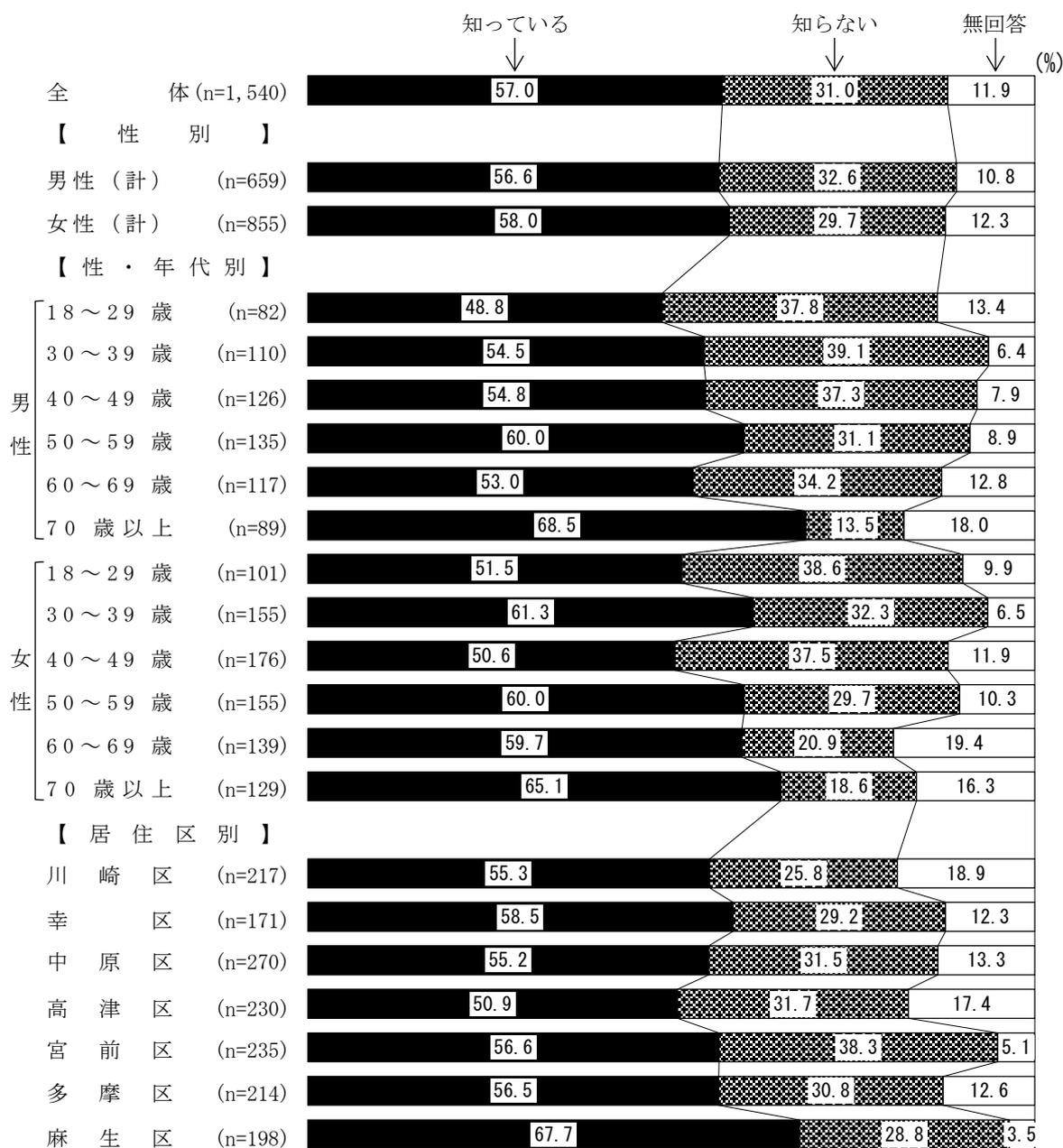
図表5-15 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
【自転車同士は並んで走ってはならない】



性/年齢別では、「自転車同士は並んで走ってはならない」ことを「知っている」は6割台半ば~7割台半ばとなっている。

居住区別でも、6割台半ば~7割台半ばとなっている。

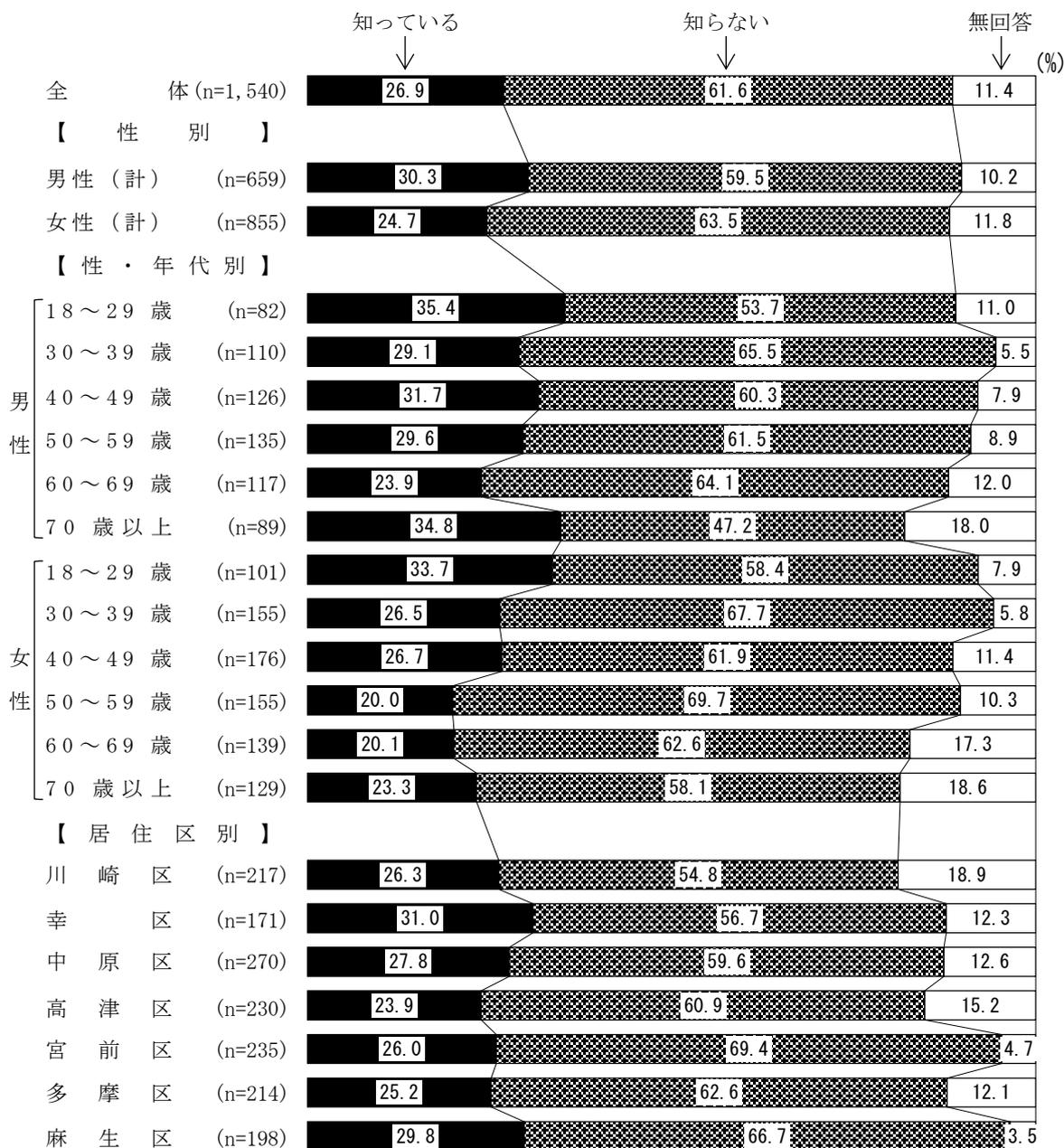
図表5-16 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
 【13歳未満の児童・幼児が自転車に乗る時は、
 保護者がヘルメットを着用させるように努めなければならない】



性/年齢別では、「13歳未満の児童・幼児が自転車に乗る時は、保護者がヘルメットを着用させるように努めなければならない」ことを「知っている」は、5割近く～6割台半ばとなっている。

居住区別では、「知っている」割合は、麻生区(67.7%)を除いて、5割台となっている。

図表5-17 交通ルールの認知(性/年齢別・居住区別)
 【自転車乗用中に、危険行為を過去3年間に2回以上繰り返した運転者は、
 公安委員会による自転車講習を受講しなければならない】



性/年齢別では、「自転車乗用中に、危険行為を過去3年間に2回以上繰り返した運転者は、公安委員会による自転車講習を受講しなければならない」ことを「知っている」は、2~3割台半ばとなっている。

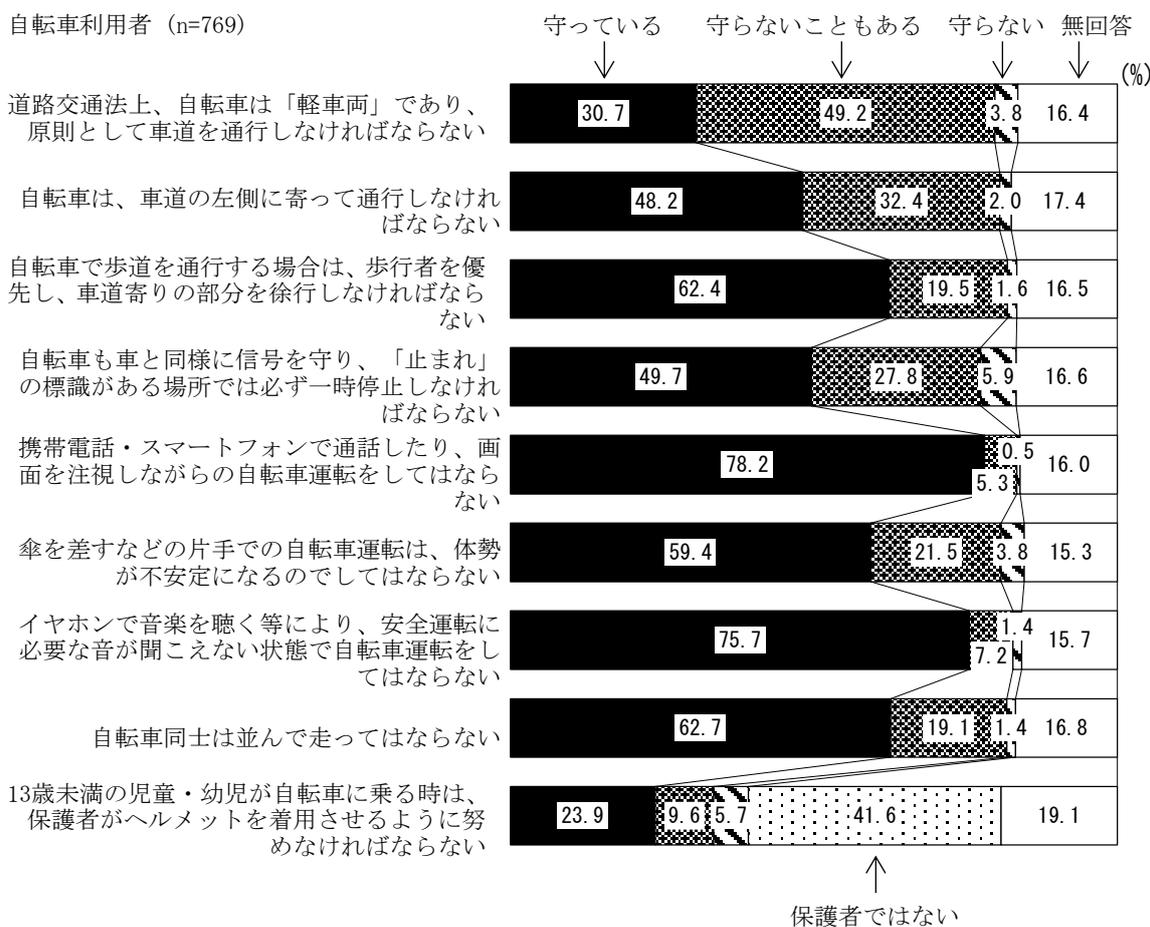
居住区別では、2割台半ば~3割となっている。

5-5 自転車利用に関する交通ルールの遵守状況

◎最も遵守しているのは「携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない」で78.2%

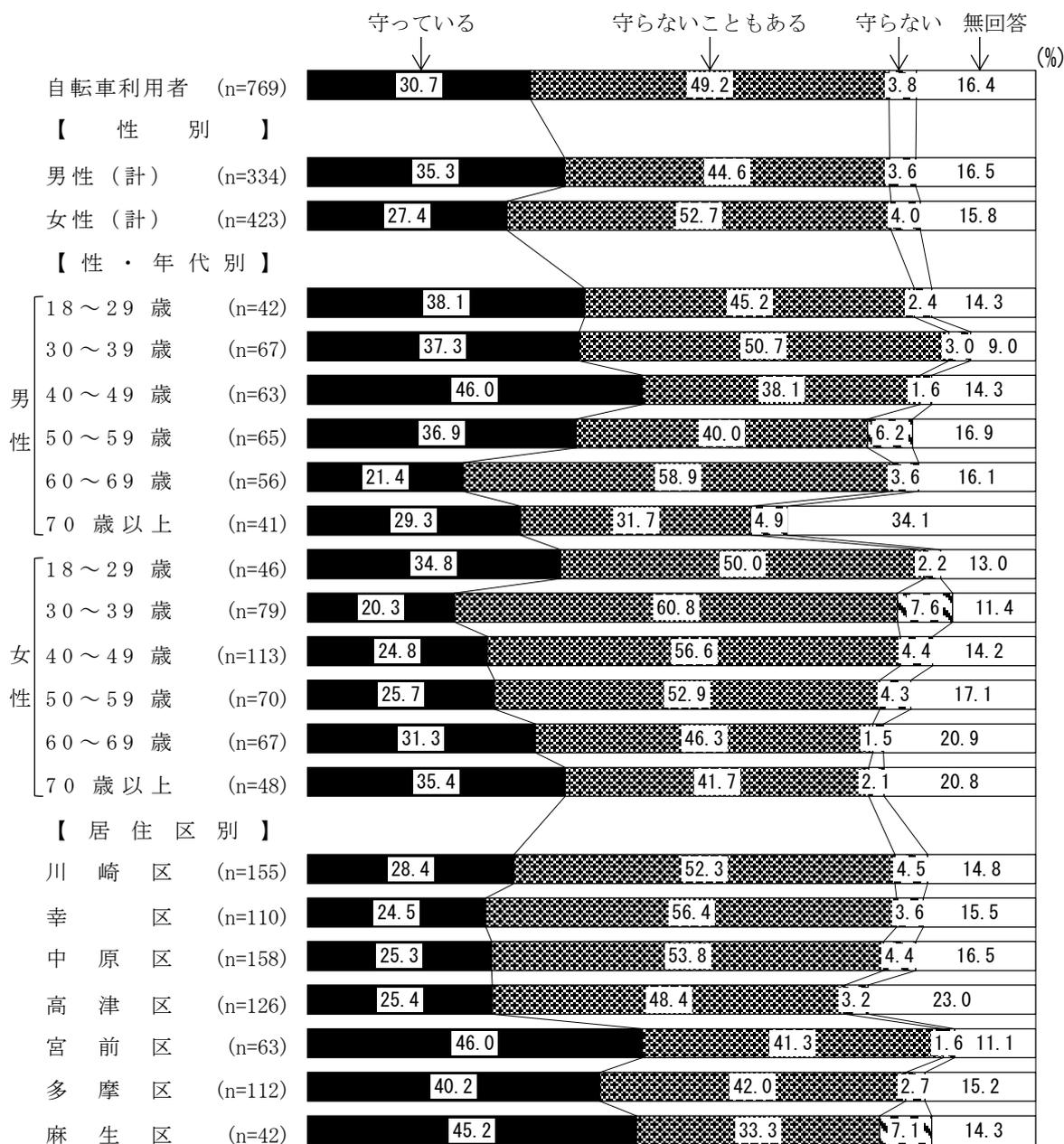
問 14. あなたは、次の自転車利用に関する交通ルールを守っていますか。交通ルールの「遵守」について、それぞれ当てはまるものをお選びください。(○はヨコに1つずつ)

図表5-18 交通ルールの遵守



自転車を「利用している」人(n=769)に、それぞれのルールの遵守状況を聞いたところ、「携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない」と「イヤホンで音楽を聴く等により、安全運転に必要な音が聞こえない状態で自転車運転をしてはならない」については、「守っている」が8割近くになっている。一方で、「道路交通法上、自転車は『軽車両』」であり、原則として車道を通行しなければならないについては約5割が、「自転車は、車道の左側に寄って通行しなければならない」や「自転車も車と同様に信号を守り、『止まれ』の標識がある場所では必ず一時停止しなければならない」については約3割が、「守らないことがある」または「守らない」と回答している。

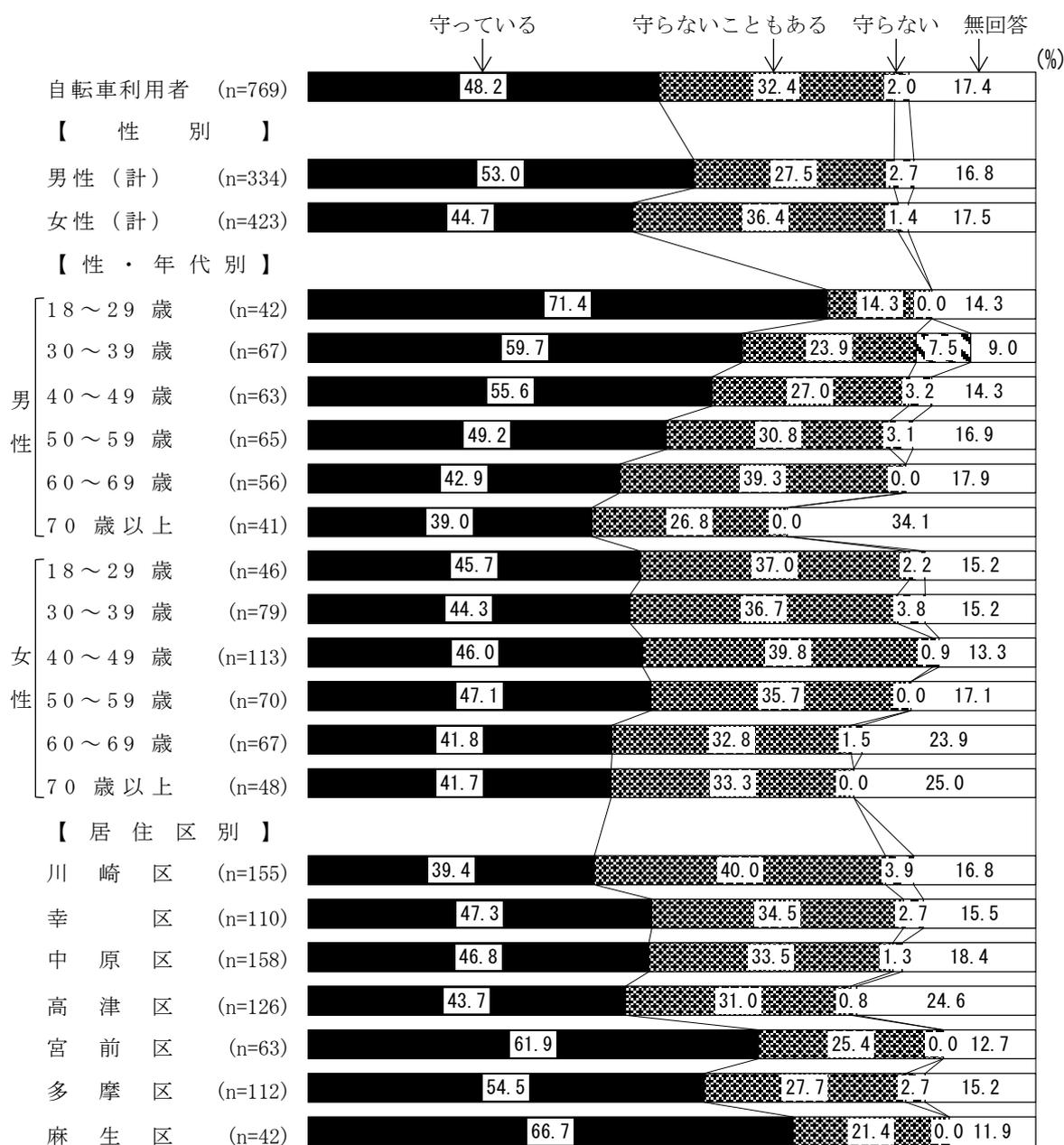
図表5-19 交通ルールの遵守(性/年齢別・居住区別)
 【道路交通法上、自転車は「軽車両」であり、原則として車道を通行しなければならない】



性/年齢別では、「道路交通法上、自転車は『軽車両』であり、原則として車道を通行しなければならない」ことを「守っている」割合は、男性の40~49歳(46.0%)で最も高い。一方、「守らないことがある」と「守らない」を合計した割合は、男性の60~69歳、女性の30~39歳と40~49歳で6割を超えている。

居住区別では、川崎区、幸区、中原区、高津区で「守らないこともある」または「守らない」との回答が5割を超えており、宮前区、麻生区、多摩区で「守っている」が4割を超えている。

図表5-20 交通ルールの遵守（性／年齢別・居住区別）
 【自転車は、車道の左側に寄って通行しなければならない】

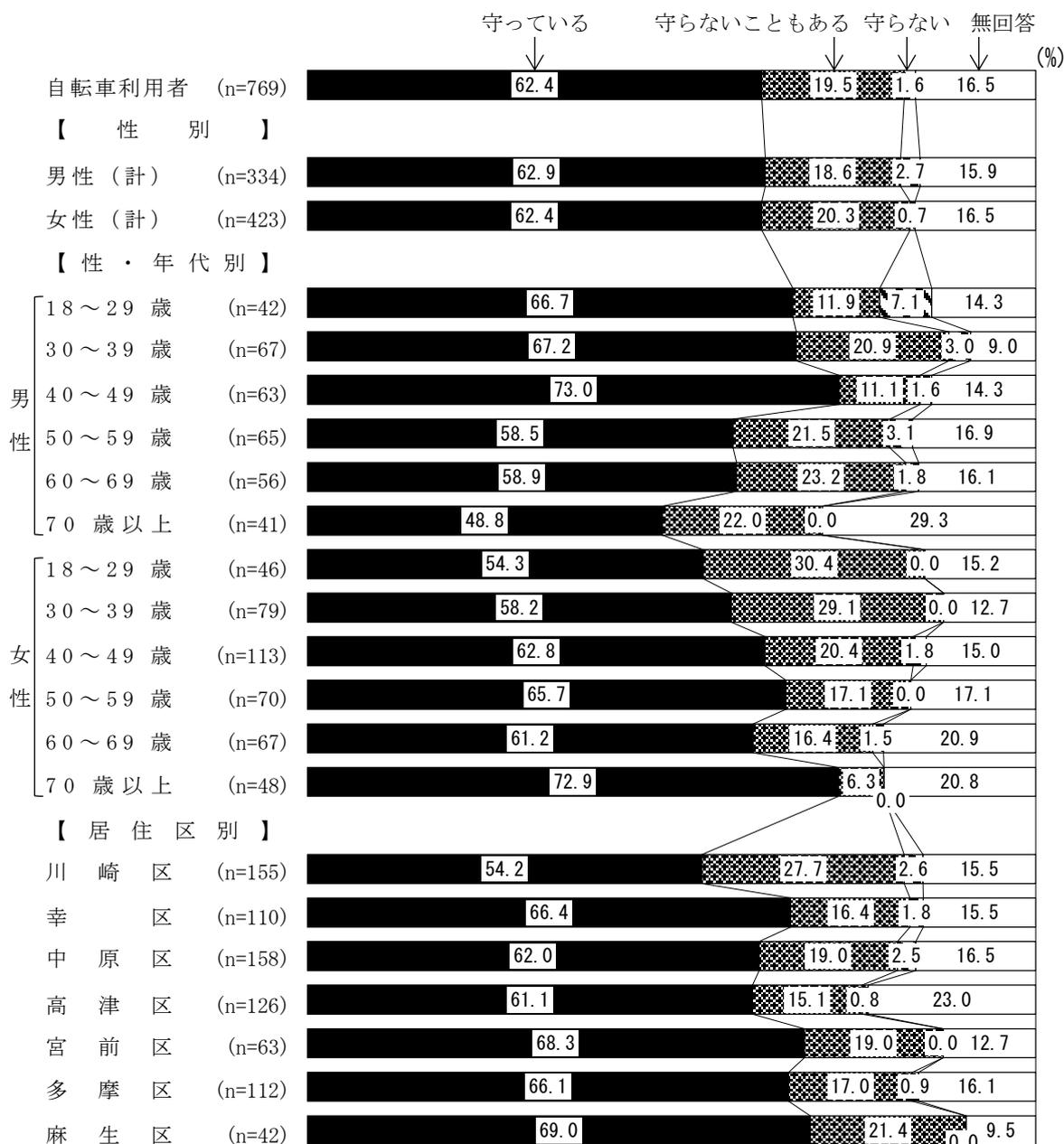


性／年齢別では、「自転車は、車道の左側に寄って通行しなければならない」ことを「守っている」割合は、男性の40歳代以下の年代で5割を超えている。一方、「守らないことがある」と「守らない」を合計した割合は、女性の30～39歳と40～49歳で4割を超えている。

居住区別では、麻生区、宮前区、多摩区で「守っている」が5割を超えている。

図表5-21 交通ルールの遵守 (性/年齢別・居住区別)

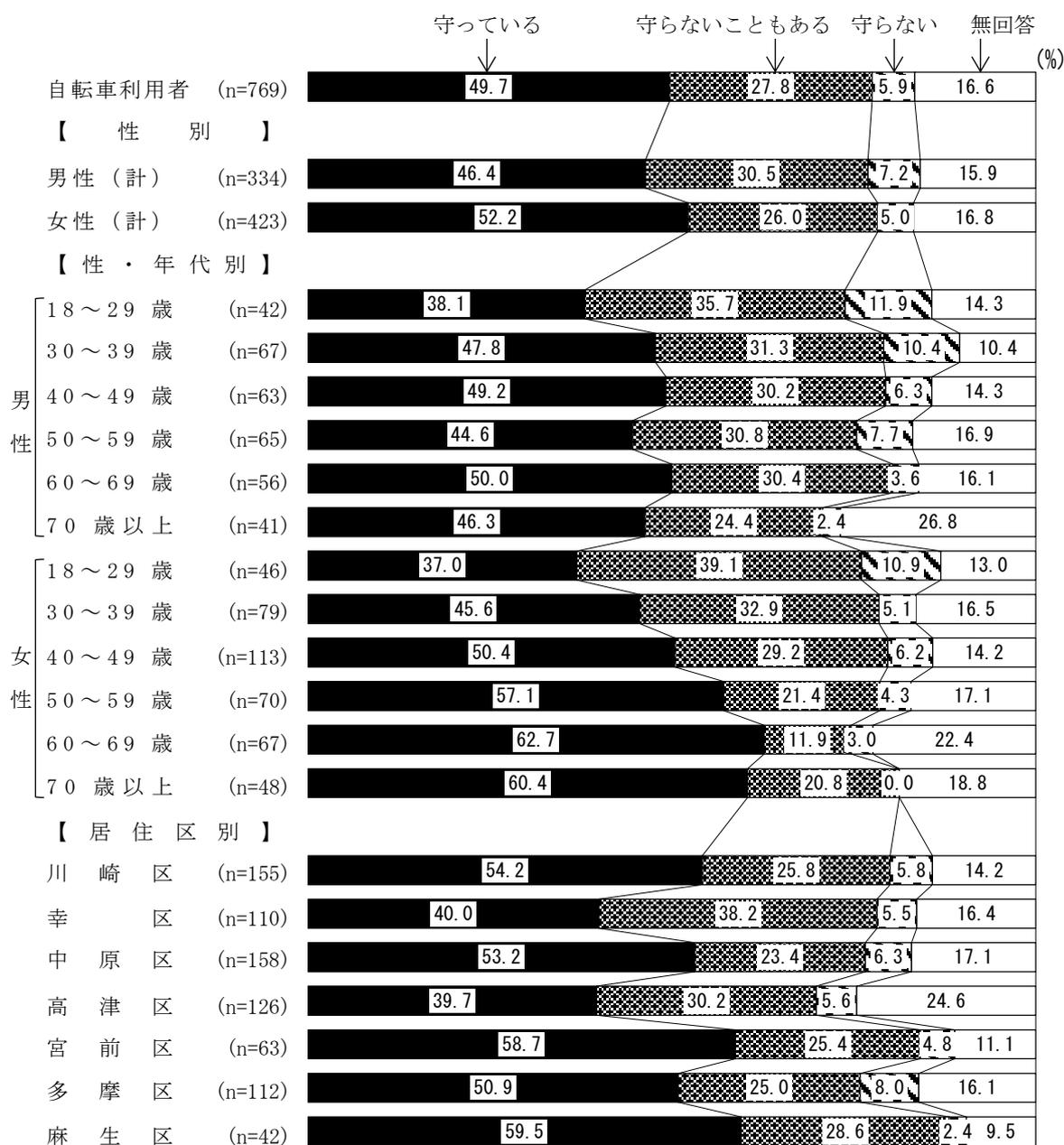
【自転車で歩道を通行する場合は、歩行者を優先し、車道寄りの部分を徐行しなければならない】



性/年齢別では、「自転車で歩道を通行する場合は、歩行者を優先し、車道寄りの部分を徐行しなければならない」ことを「守っている」割合は、男性の40~49歳と女性の70歳以上で7割を超えている。

居住区別では、川崎区を除き、「守っている」が6割を超えている。

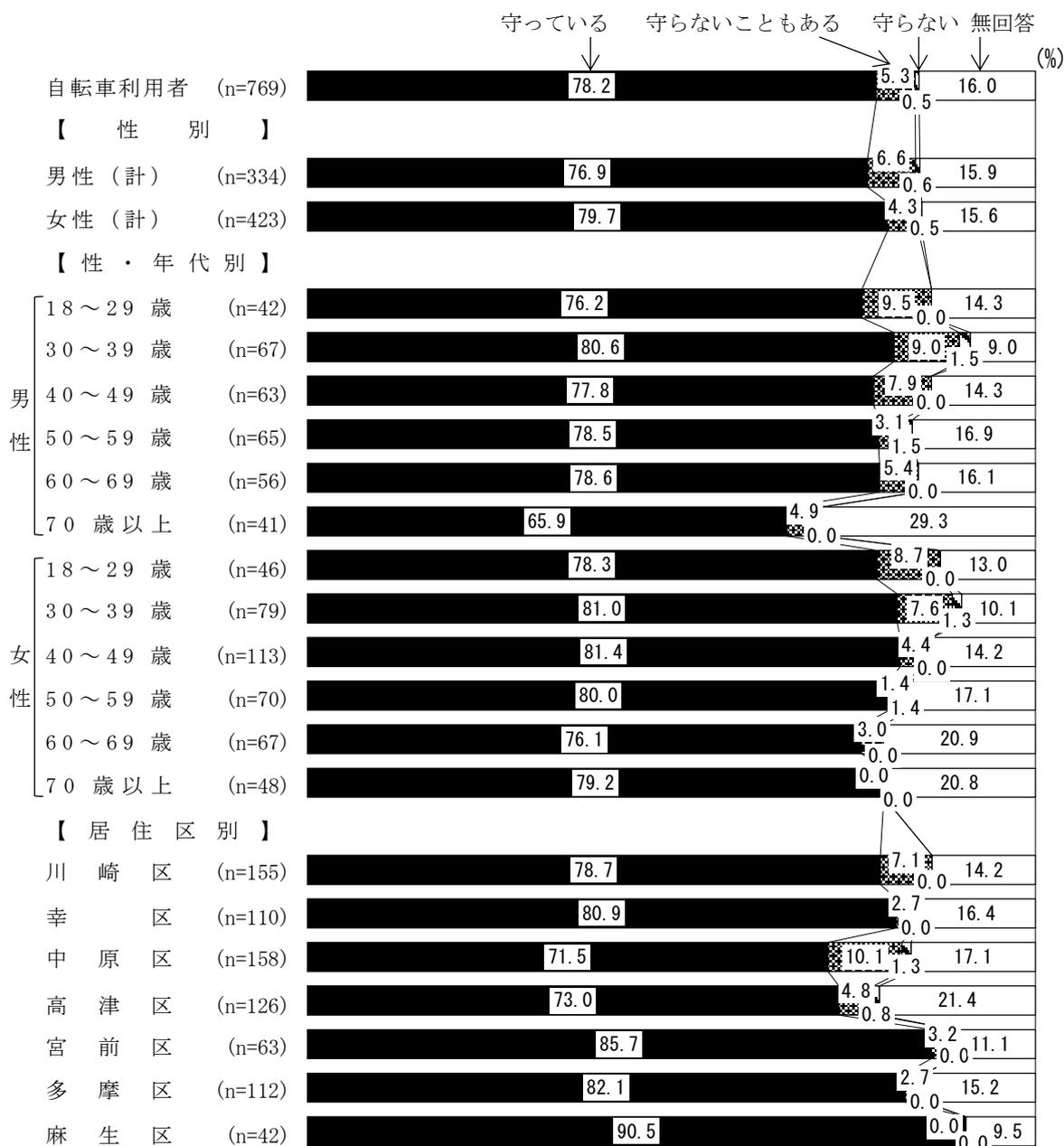
図表5-22 交通ルールの遵守（性／年齢別・居住区別）
 【自転車も車と同様に信号を守り、
 「止まれ」の標識がある場所では必ず一時停止しなければならない】



性／年齢別では、「自転車も車と同様に信号を守り、『止まれ』の標識がある場所では必ず一時停止しなければならない」ことを「守っている」割合は、女性の60～69歳と70歳以上で6割を超えている。

居住区別では、幸区と高津区を除き、「守っている」が5割を超えている。

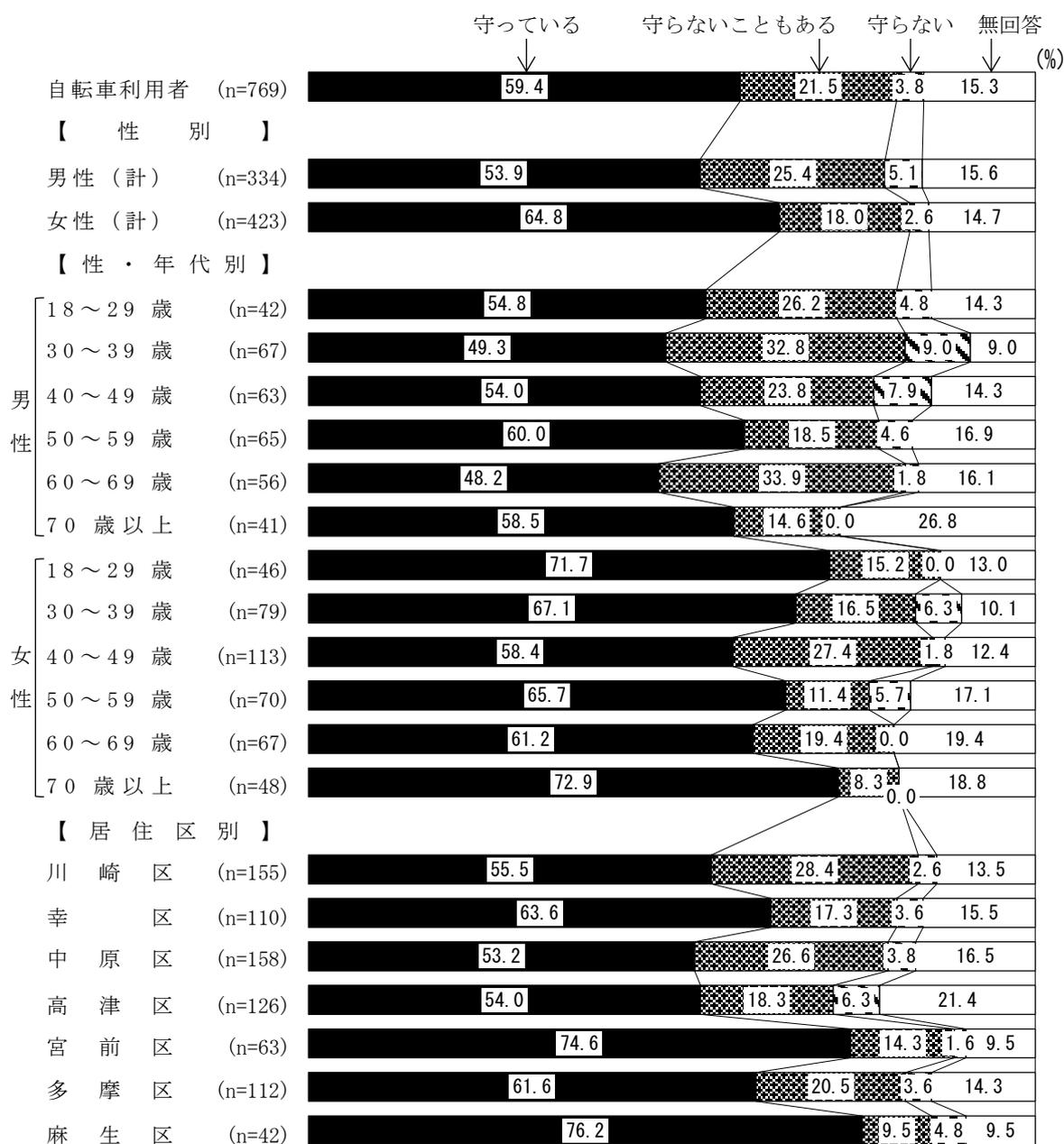
図表5-23 交通ルールの遵守(性/年齢別・居住区別)
【携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない】



性/年齢別では、「携帯電話・スマートフォンで通話したり、画面を注視しながらの自転車運転をしてはならない」ことを「守っている」割合は、男性の70歳以上を除き、8割前後となっている。

居住区別では、中原区と高津区を除き、「守っている」が8割程度~9割となっている。

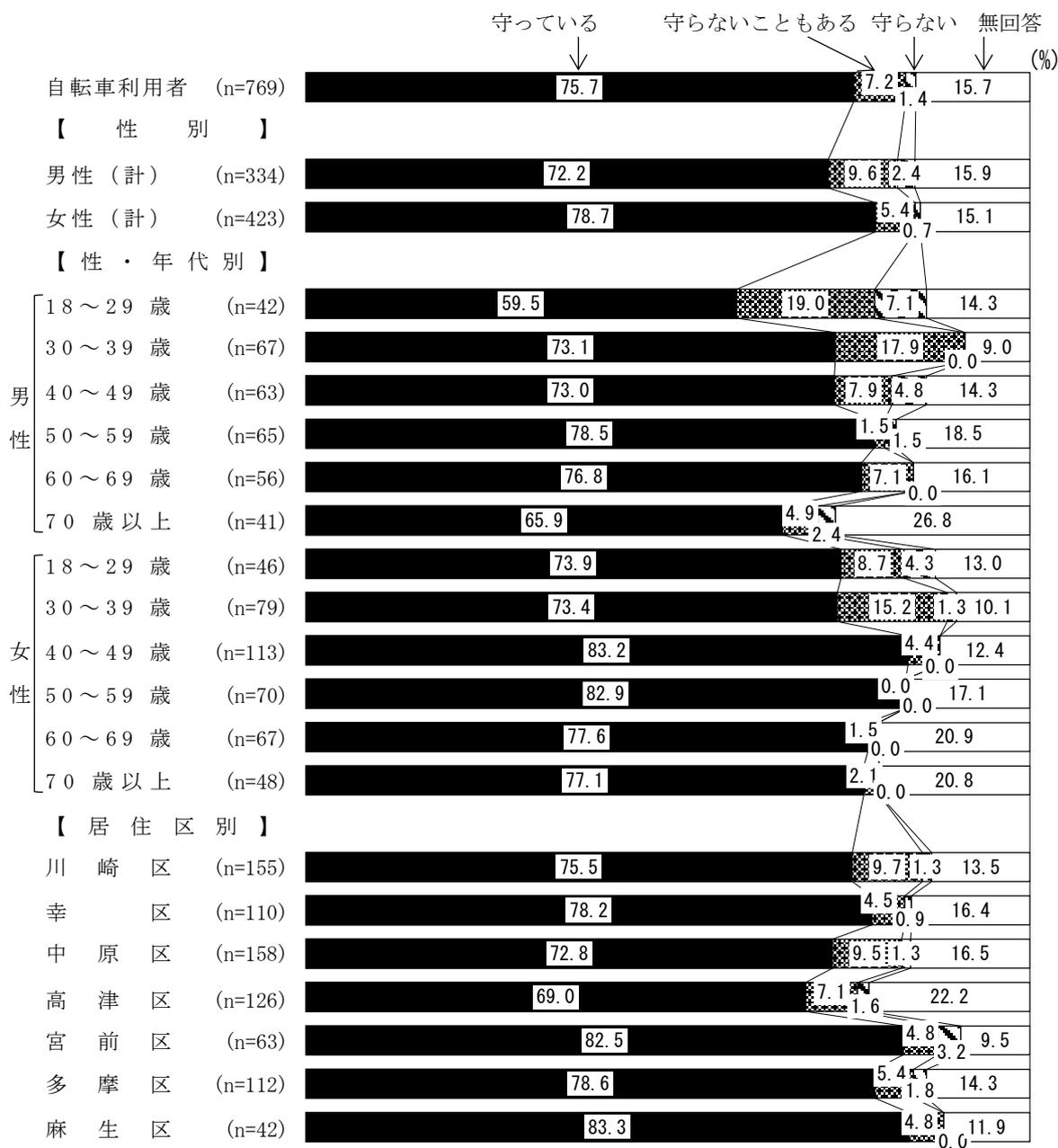
図表5-24 交通ルールの遵守（性／年齢別・居住区別）
 【傘を差すなどの片手での自転車運転は、体勢が不安定になるのではない】



性／年齢別では、「傘を差すなどの片手での自転車運転は、体勢が不安定になるのではない」ことを「守っている」割合は、男性の30～39歳と60～69歳を除き、5～7割程度となっている。

居住区別では、麻生区と宮前区では「守っている」が7割を超えている。

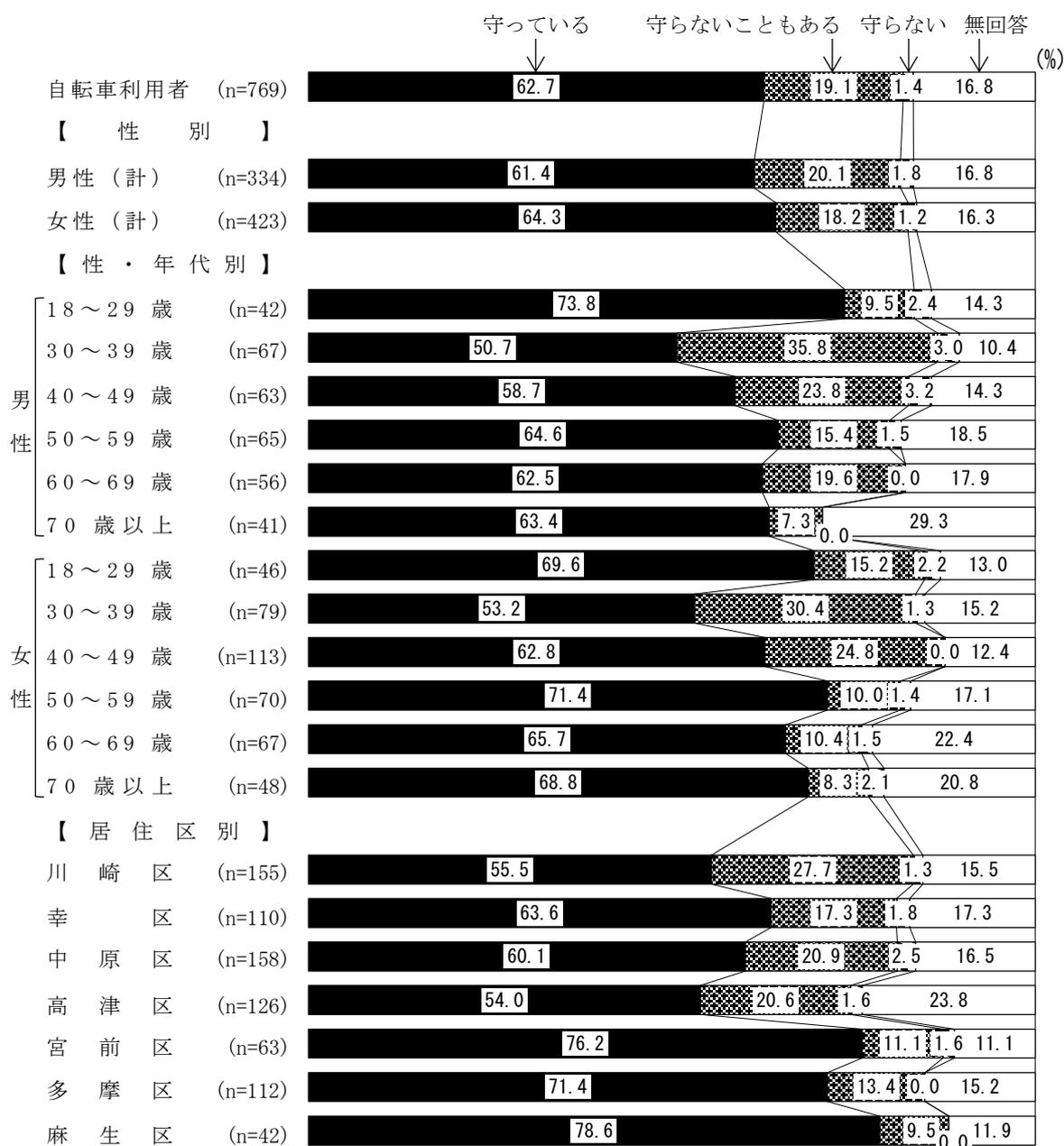
図表5-25 交通ルールの遵守(性/年齢別・居住区別)
【イヤホンで音楽を聴く等により、安全運転に必要な音が聞こえない状態で自転車運転をしてはならない】



性/年齢別では、「イヤホンで音楽を聴く等により、安全運転に必要な音が聞こえない状態で自転車運転をしてはならない」ことを「守っている」割合は、男性の18~29歳と70歳以上を除き、7割を超えている。

居住区別では、麻生区と宮前区では「守っている」が8割を超えている。

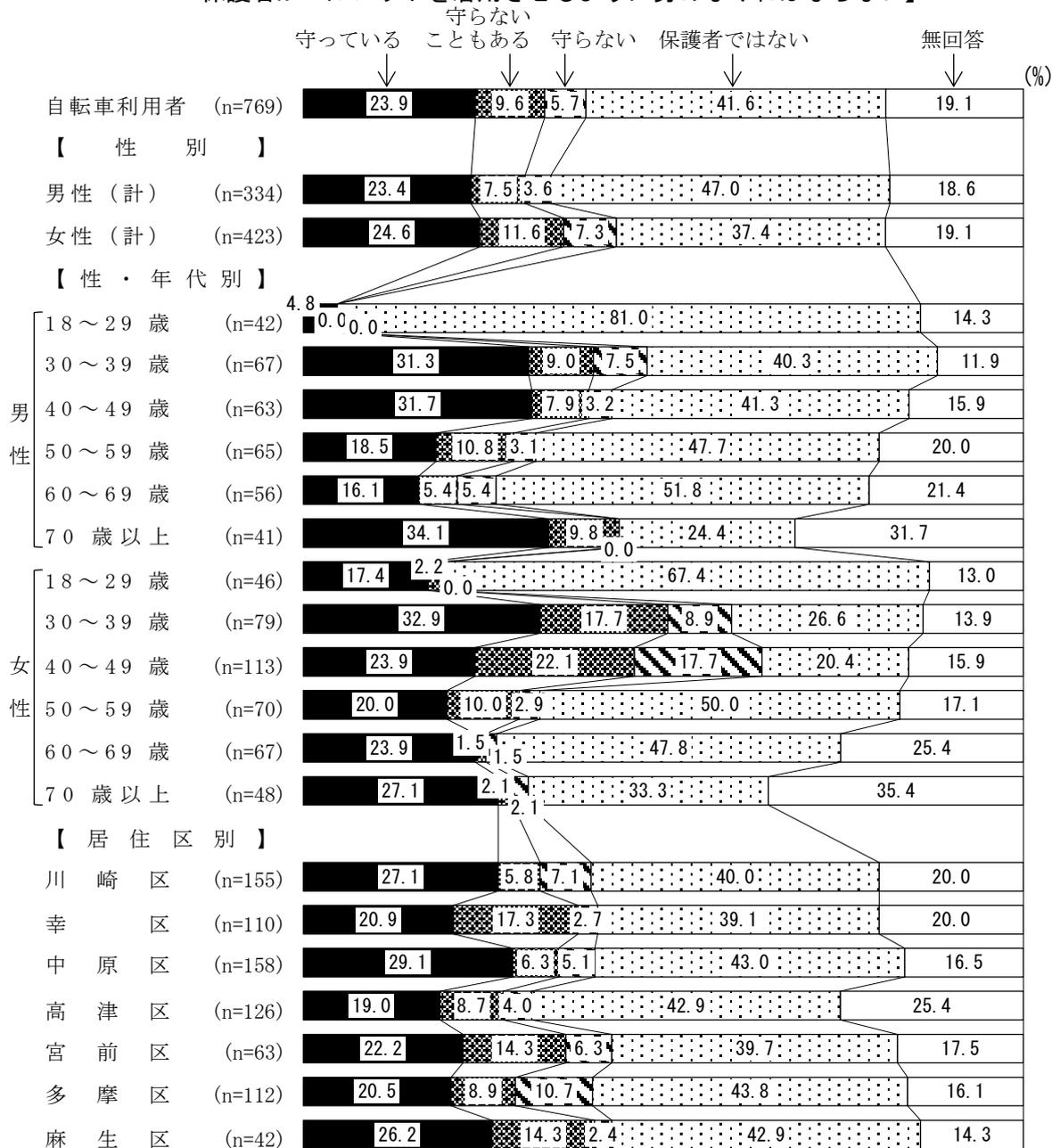
図表5-26 交通ルールの遵守（性／年齢別・居住区別）
【自転車同士は並んで走ってはならない】



性／年齢別では、「自転車同士は並んで走ってはならない」ことを「守っている」割合は、男性の30～39歳と40～49歳、女性の30～39歳を除き、6割を超えている。

居住区別では、麻生区、宮前区、多摩区では「守っている」が7割を超えている。

図表5-27 交通ルールの遵守 (性/年齢別・居住区別)
 【13歳未満の児童・幼児が自転車に乗る時は、
 保護者がヘルメットを着用させるように努めなければならない】



性/年齢別では、「13歳未満の児童・幼児が自転車に乗る時は、保護者がヘルメットを着用させるように努めなければならない」については、「保護者ではない」が4割を超える年代が多い。他に比べ、「保護者ではない」割合が低い女性の30~39歳と40~49歳についてみると、女性の40~49歳では、「守っている」割合よりも、「守らないことがある」と「守らない」を合計した割合の方が高くなっている。

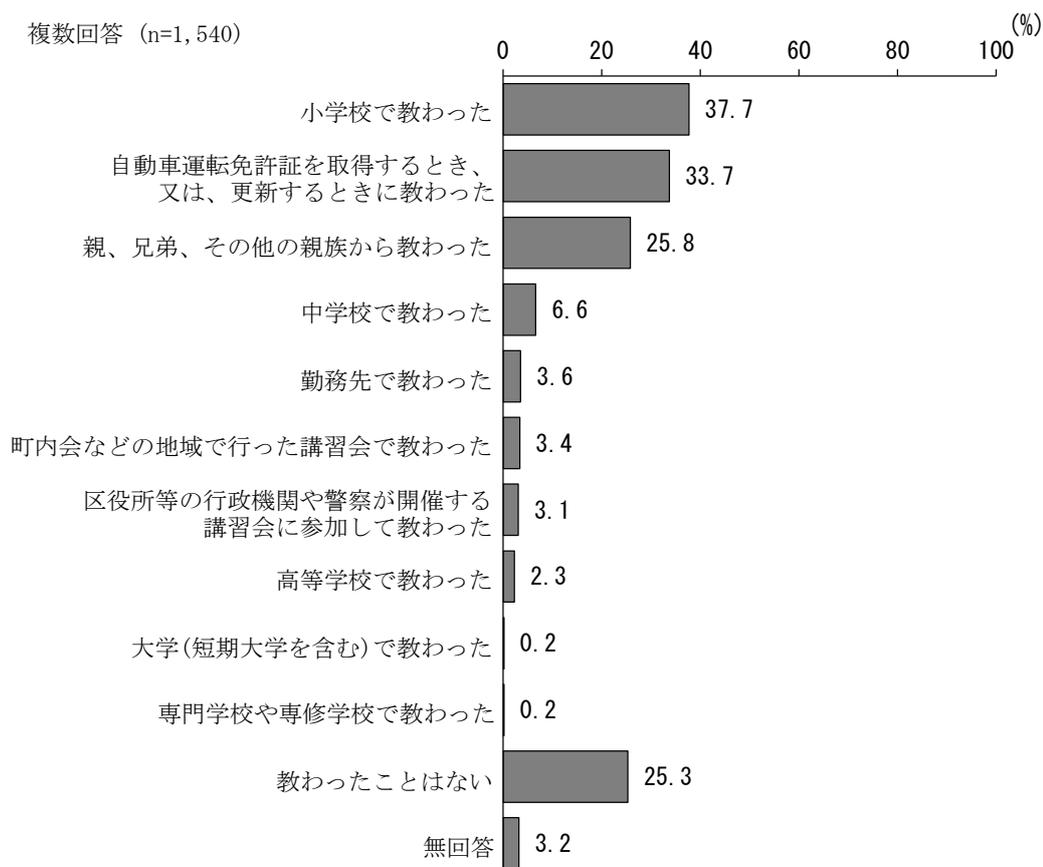
居住区別では、いずれの区も「守っている」が2割程度~3割程度で、「保護者ではない」が4割程度となっている。

5-6 自転車のルール・マナーを教わった経験

◎「小学校で教わった」が37.7%

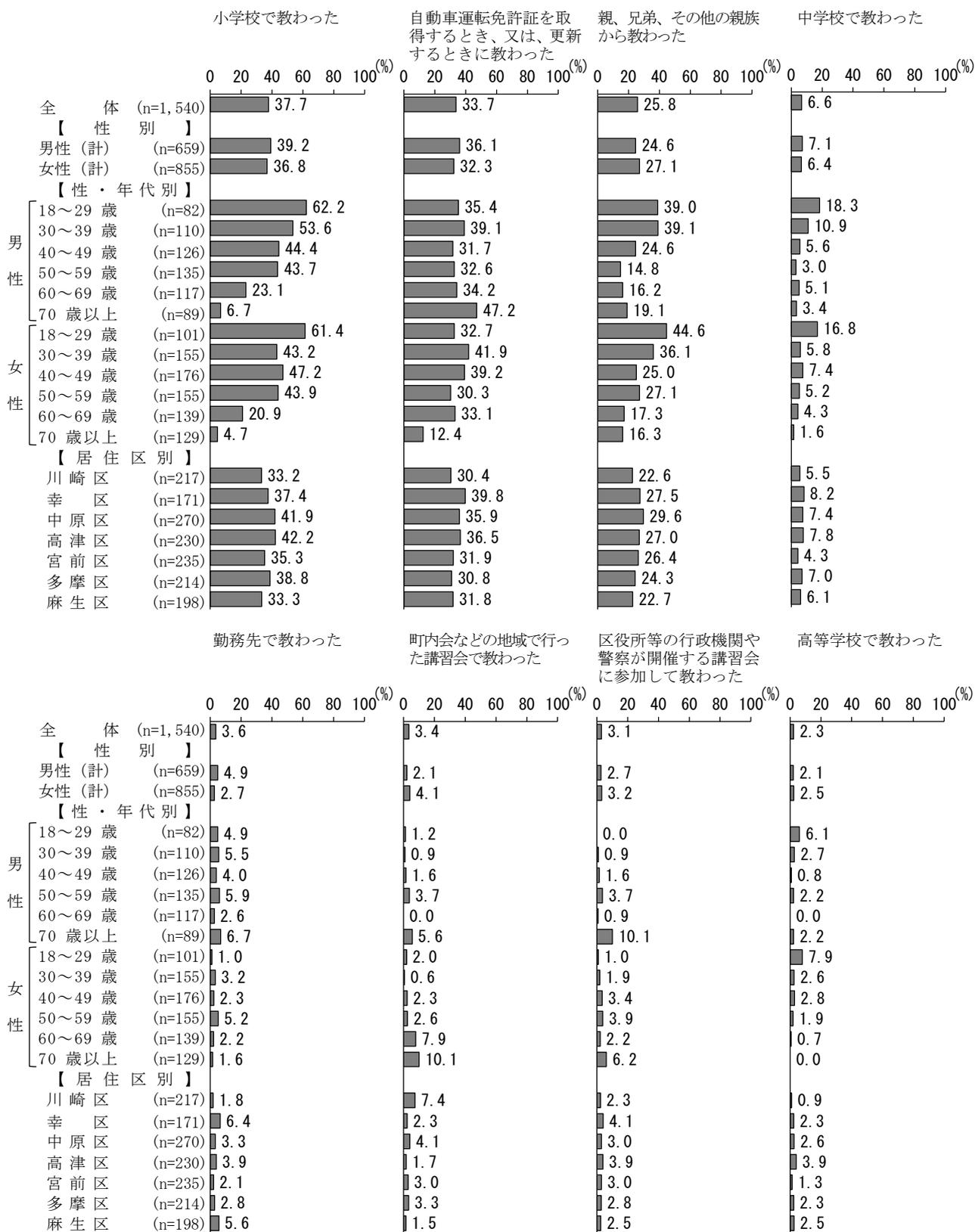
問 15. あなたは、これまでに自転車のルール・マナーについて、教わったことがありますか。
(○はいくつでも)

図表 5-28 自転車のルール・マナーを教わった経験



これまでに自転車のルールやマナーを教わったことがあるかどうかを聞いたところ、「教わったことがある」が7割程度で、具体的な機会としては、「小学校で教わった」(37.7%)が最も高く、次いで、「自動車免許証を取得するとき、又は、更新するとき教わった」(33.7%)、「親、兄弟、その他の親族から教わった」(25.8%)の順となっている。

図表5-29 自転車のルール・マナーを教わった経験 (性/年齢別・居住区別 上位8項目)



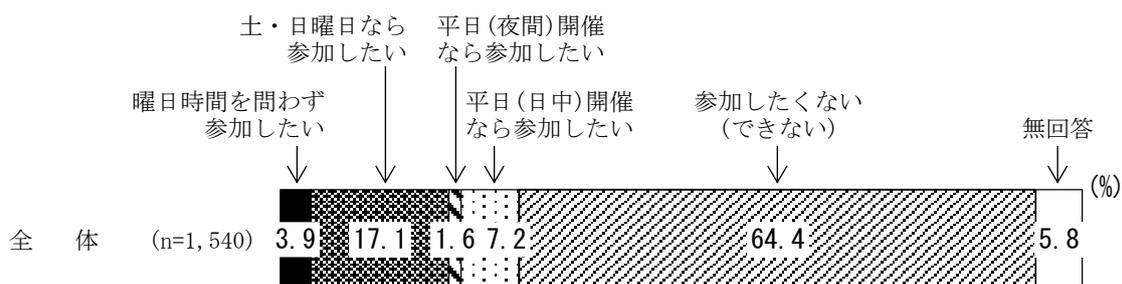
性/年齢別では、「小学校で教わった」は、男女ともに18~29歳で6割を超え、最も高い。

5-7 自転車安全利用講習会参加意向

◎「参加したくない(できない)」が64.4%

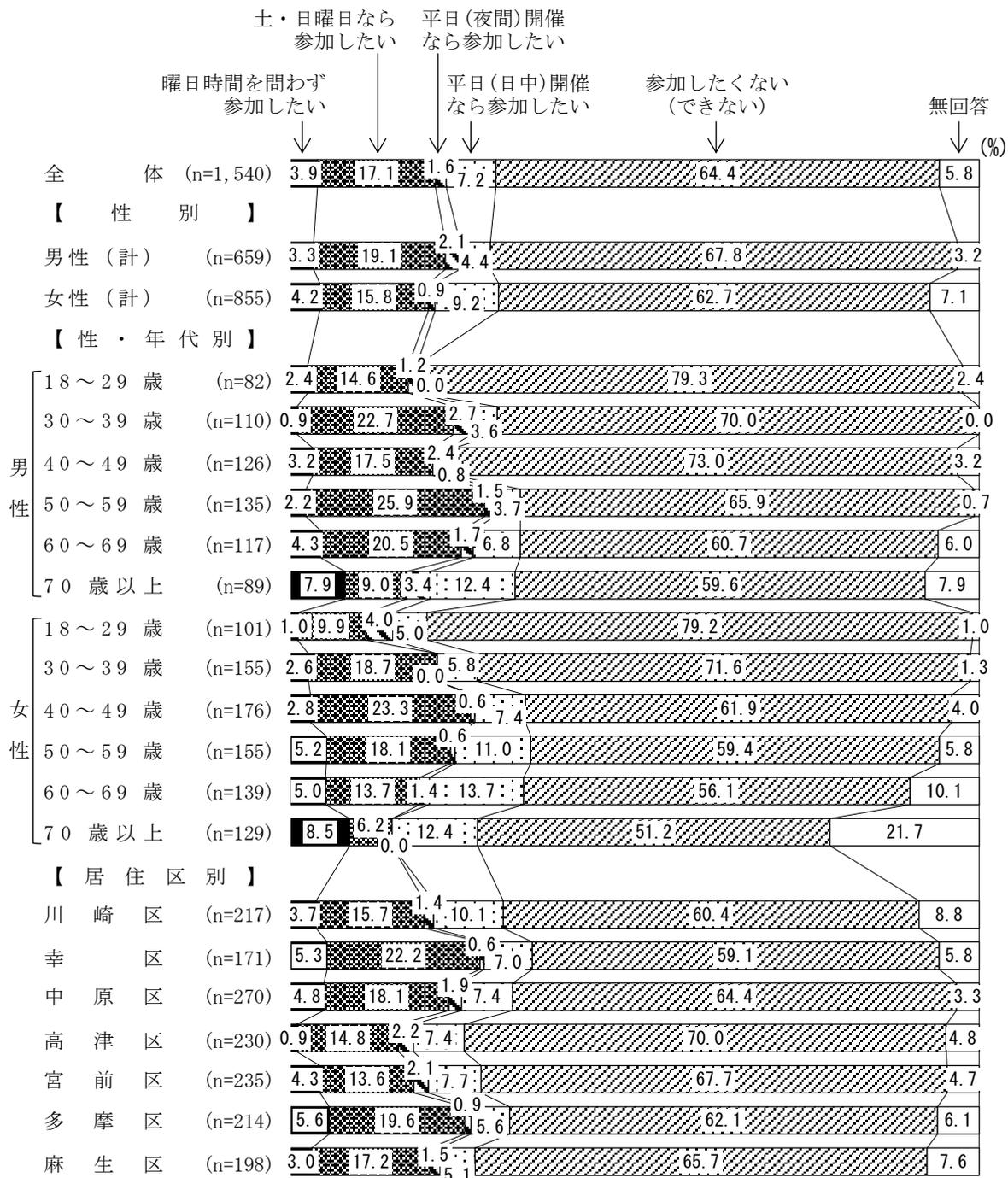
問 16. あなたは、自転車安全利用講習会(無料、在住区または近くの区で開催の場合)などの自転車走行ルールを学ぶ機会があれば参加したいと思いますか。(○は1つ)

図表 5-30 自転車安全利用講習会参加意向



自転車安全利用講習会(無料、在住区または近くの区で開催の場合)などの自転車走行ルールを学ぶ機会への参加意向を聞いたところ、「参加したくない(できない)」が64.4%で最も高く、曜日・時間帯の条件付きを含めて「参加したい」割合は3割程度となっている。

図表5-31 自転車安全利用講習会参加の意向(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、男性の30~39歳と50歳代以上、女性の40歳代~60歳代で、「参加したい」が3割を超えている。

居住区別では、幸区、中原区、多摩区、川崎区で「参加したい」が3割を超えている。

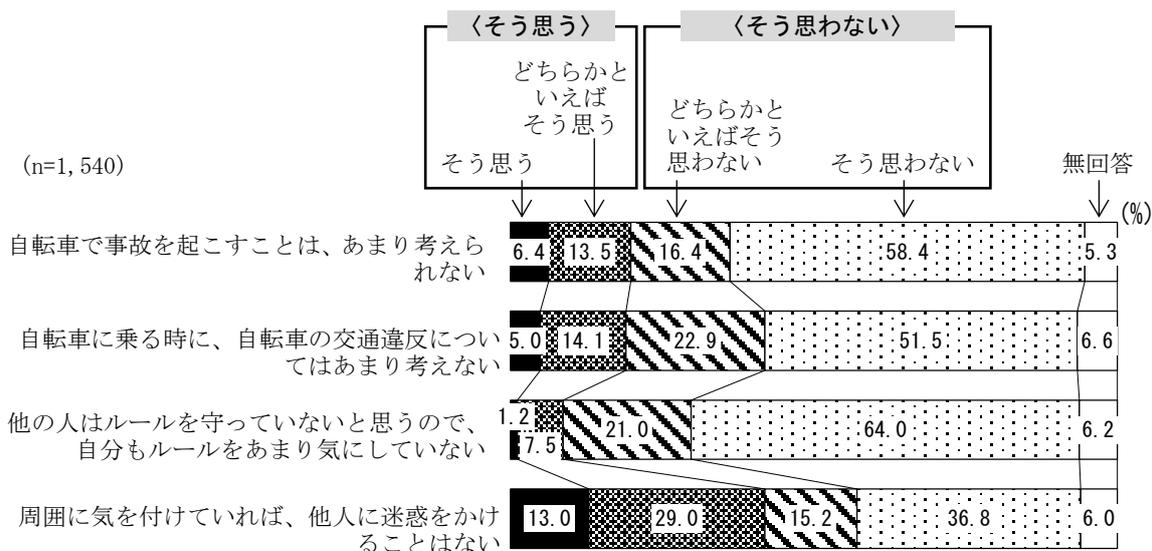
5-8 自転車利用に関する考え方

◎「周囲に気を付けていれば、他人に迷惑をかけることはない」の〈そう思う〉が41.9%

問 17. 自転車の利用について、あなたのお考えに一番近いものを選んでください。

(○はヨコに1つずつ)

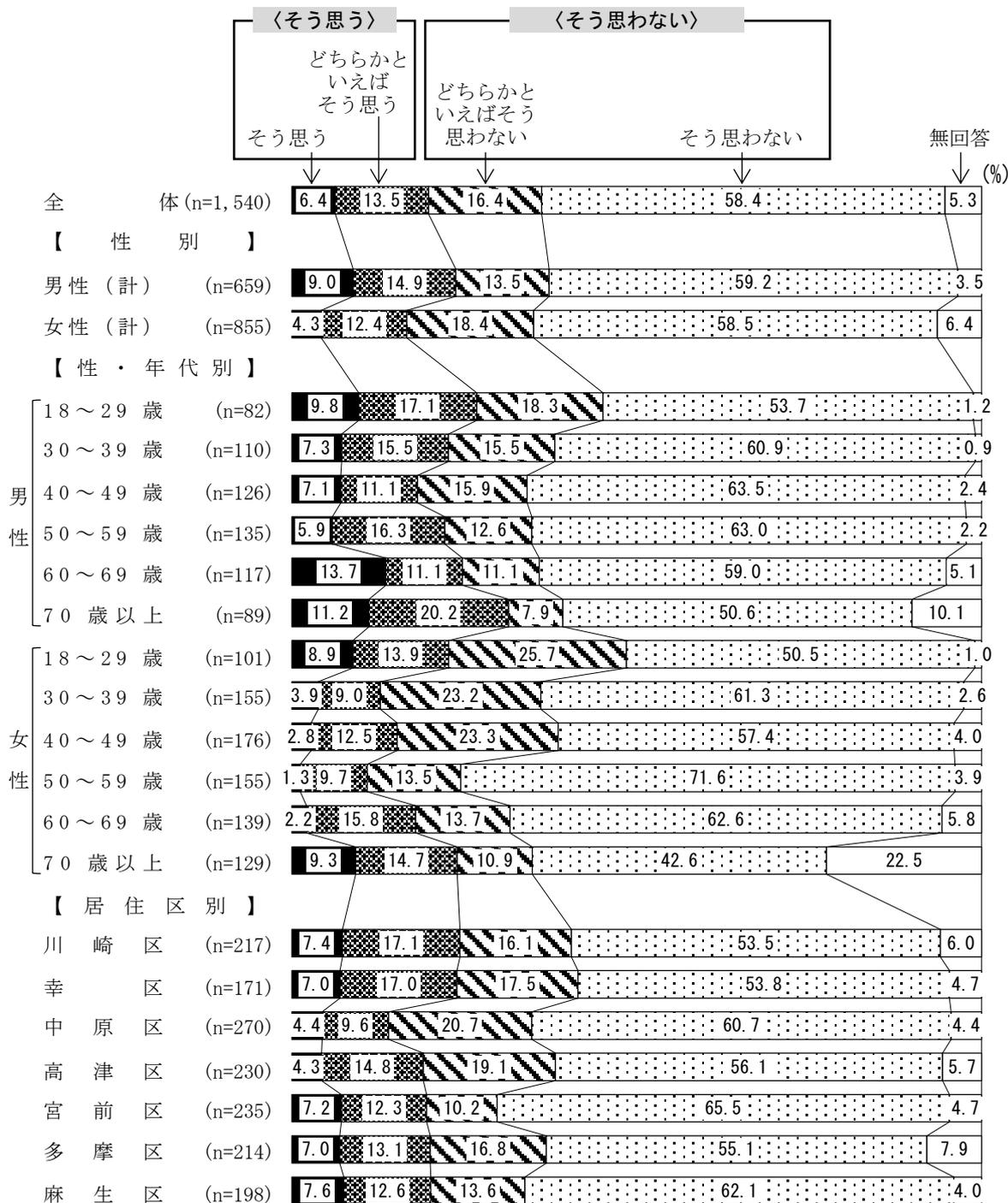
図表 5-32 自転車利用について



自転車利用の考え方について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた〈そう思う〉は、「周囲に気を付けていれば、他人に迷惑をかけることはない」(41.9%)が最も高く、「自転車で事故を起こすことは、あまり考えられない」が19.9%、「自転車に乗る時に、自転車の交通違反についてはあまり考えない」は19.1%で、「他の人はルールを守っていないと思うので、自分もルールをあまり気にしていない」は8.8%となっている。

図表5-33 自転車利用について(性/年齢別・居住区別)

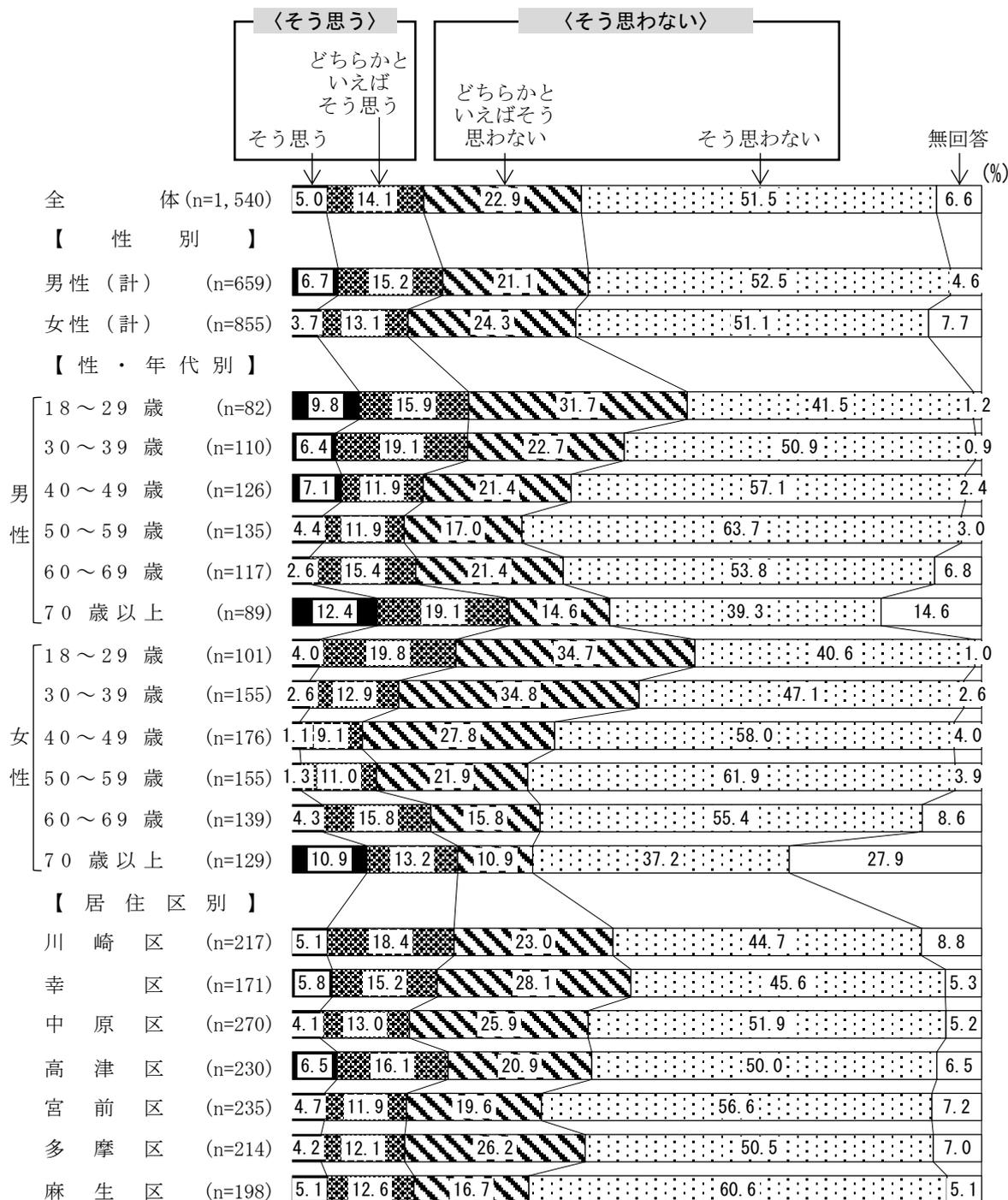
【自転車で事故を起こすことは、あまり考えられない】



性/年齢別では、「自転車で事故を起こすことは、あまり考えられない」について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた＜そう思う＞は、男性の70歳以上で3割を超えて最も高く、男性の18～29歳と60～69歳、女性の70歳以上でも2割台半ばとなっている。一方で、女性の30歳代～50歳代では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた＜そう思わない＞が8割を超えている。

居住区別では、川崎区と幸区で＜そう思う＞が2割台半ばとなっている。一方で、中原区では＜そう思わない＞が8割を超えている。

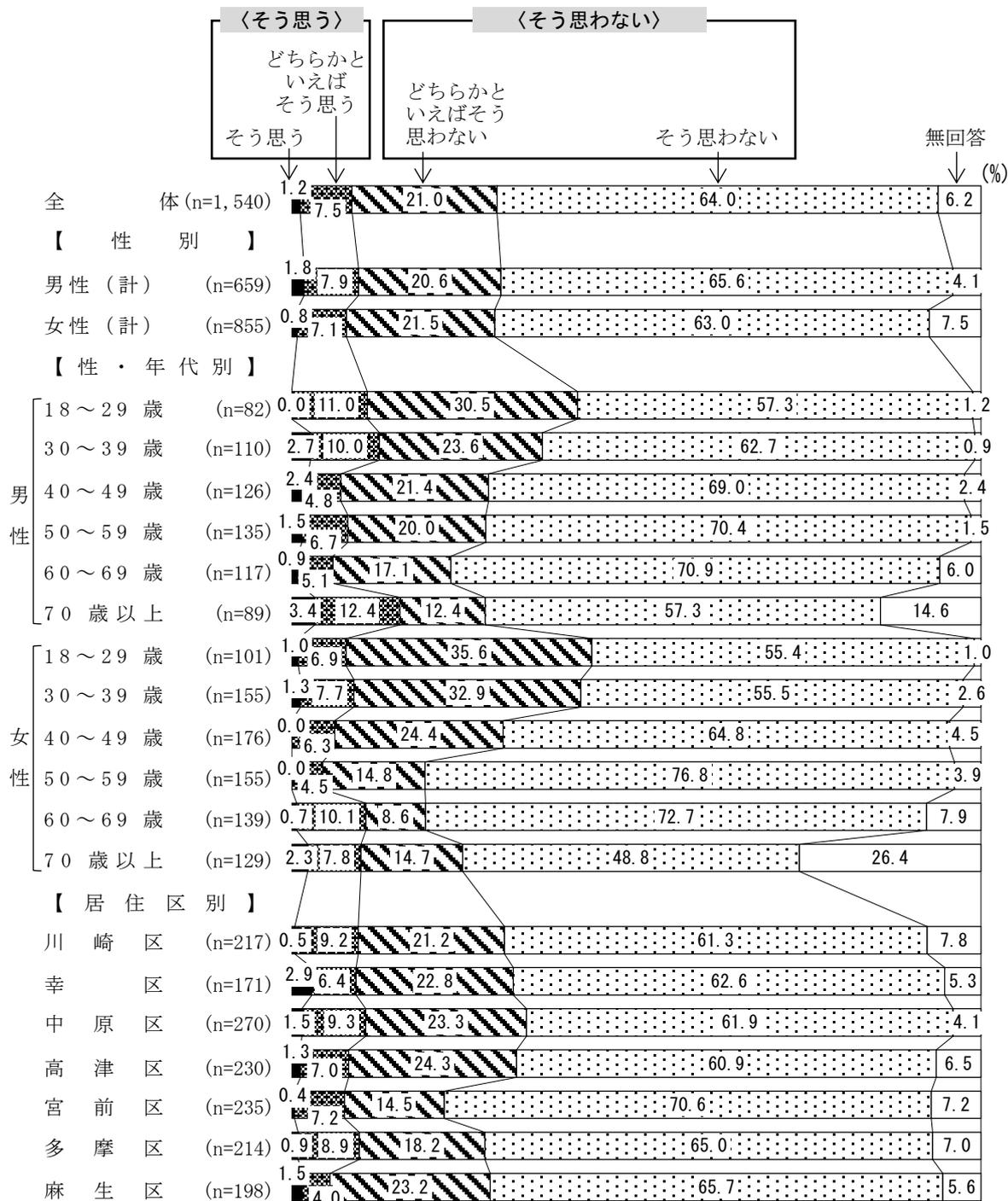
図表5-34 自転車利用について（性／年齢別・居住区別）
【自転車に乗る時に、自転車の交通違反についてはあまり考えない】



性／年齢別では、「自転車に乗る時に、自転車の交通違反についてはあまり考えない」について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた＜そう思う＞は、男性の70歳以上で3割を超えて最も高く、男性の18～29歳と30～39歳、女性の70歳以上でも2割台半ばとなっている。一方で、男性の50～59歳と女性の30歳代～50歳代では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた＜そう思わない＞が8割を超えている。

居住区別では、川崎区、高津区、幸区で＜そう思う＞が2割を超えている。

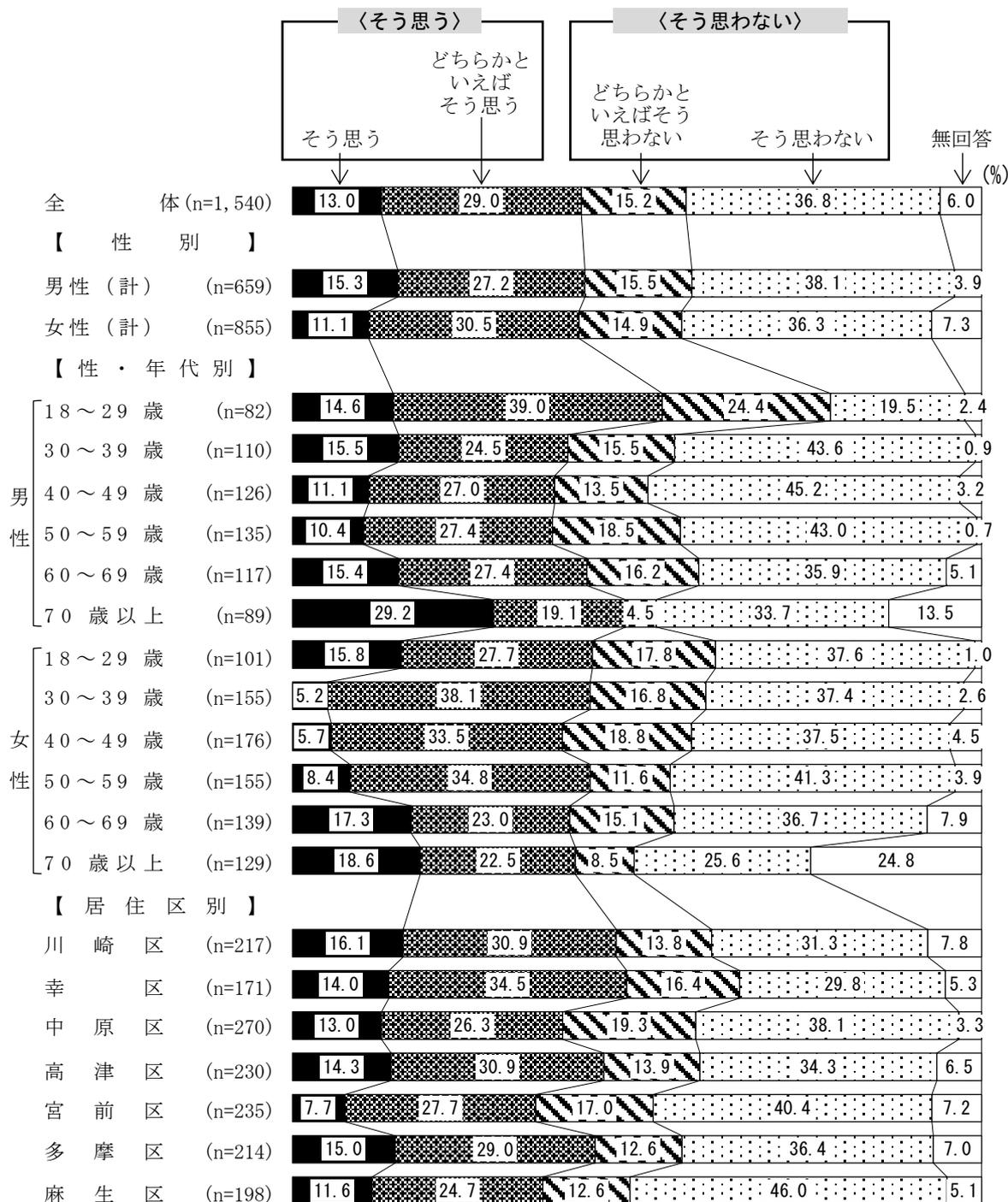
図表5-35 自転車利用について(性/年齢別・居住区別)
【他の人はルールを守っていないと思うので、自分もルールをあまり気にしていない】



性/年齢別では、「他の人はルールを守っていないと思うので、自分もルールをあまり気にしていない」について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた<そう思う>は、男性の70歳以上で1割台半ばと最も高く、他には、男性の18~29歳と30~39歳、女性の60~69歳と70歳以上で1割を超えている。

居住区別では、中原区で<そう思う>が1割を超えているが、他の区は1割未満となっている。

図表5-36 自転車利用について(性/年齢別・居住区別)
【周囲に気を付けていれば、他人に迷惑をかけることはない】



性/年齢別では、「周囲に気を付けていれば、他人に迷惑をかけることはない」について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた<そう思う>は、男性の18~29歳で5割を超えて最も高く、男性の70歳以上も5割近くとなっている。一方で、男性の30歳代~50歳代では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた<そう思わない>が6割前後となっている。

居住区別では、川崎区と幸区で<そう思う>が5割近くとなっている。